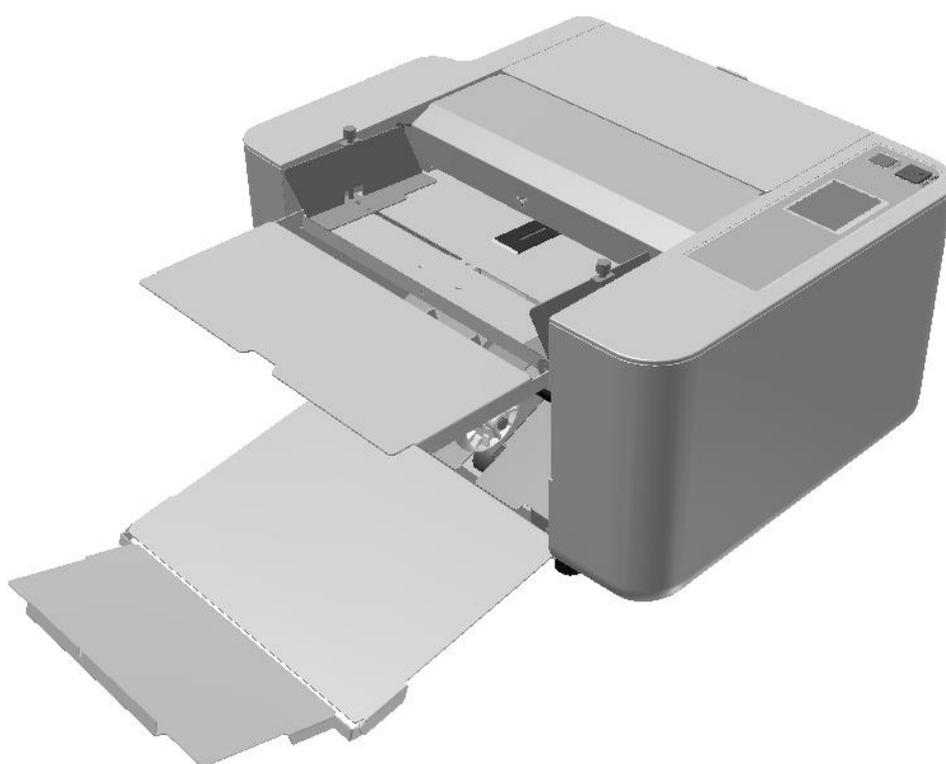


取扱説明書

紙折機 LF-A601



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて大切に
保管してください。

はじめに

- ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この取扱説明書を必要な時にいつでもお読みになれるよう、保管場所を決めて大切に保管してください。
- この製品は改良のため、仕様を変更する場合があります。
このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの取扱説明書を混同して使用しないでください。
- 本書では、一部の部品を省略している挿絵があります。ご了承ください。

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、事故や負傷を未然に防止するためのものです。

警告

	アース接続してください。 漏電した場合、感電を防止します。
	<p>交流100V周波数50/60Hzで使用してください。 不適切な電圧や周波数で使用しますと、火災や故障の恐れがあります。</p> <p>この機器の上に物をのせないでください。機器内部に水や異物が入った場合、火災や漏電の恐れがあります。</p> <p>電源コードを扱う際は、火災や感電を防ぐため以下の事に十分ご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷や破損のあるものや、加工をしたものは使用しないでください。 ・重量物をのせないでください。 ・無理に曲げないでください。 <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。</p>
	<p>この機器をみだりに分解しないでください。感電やケガの恐れがあります。</p> <p>この機器を改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。</p>
	<p>機器や電源コードで以下のような異常がみられる場合、火災や感電のおそれがあります。</p> <p>速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店までご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発熱している。 ・煙が出ている。 ・変な臭いがする。 ・機器内に異物が入ってしまった。 <p>雷が近づいてきたら、落雷による火災や故障を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

注意

	<p>髪の毛・ネクタイ・ネックレスなどを駆動部に垂らさないでください。ケガの原因になります。</p> <p>不安定な台の上や傾いた場所に設置しないでください。落下や転倒の原因になります。</p> <p>湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。</p> <p>本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p> <p>コードが傷つき、火災・感電の原因になります。</p> <p>連休などで長期間この機器を使用しない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
---	---

目次

1. 設置前の注意事項	
1.1 設置場所の確認.....	8
1.2 搬入時の注意.....	8
1.3 付属品の種類・数量の確認.....	9
2. 製品各部の名称	
2.1 外観.....	10
2.2 操作パネル.....	11
3. 特に注意していただきたいこと	
3.1 用語の定義	
3.1.1 マーク解説.....	11
3.1.2 用語・折り形解説.....	11
3.2 特徴および使用目的.....	12
3.3 使用しないとき.....	12
3.4 使用上の注意.....	12
4. 使用前の準備	13
5. 使用方法	
5.1 規格用紙(A3・A4・B4・B5等)の定形折り.....	14
5.2 規格外用紙の定形折り	
5.2.1 用紙長さを自動で読み取らせる場合.....	16
5.2.2 用紙長さを入力する場合.....	18
5.3 変形折り.....	20
5.4 クロス折り.....	22
5.5 給紙トラブル時の対処方法(給紙圧、セパレータ圧調整).....	23
5.5.1 複数枚給紙が多発する場合.....	24
5.5.2 給紙スリップが多発する場合.....	24
5.6 調整	
5.6.1 斜行調整.....	25
5.6.2 折り位置の微調整.....	26
5.6.3 排紙ローラ位置の調整.....	28

5.7	規格用紙の折り位置の登録／消去（定形折り微調整位置）	
5.7.1	微調整位置の登録	29
5.7.2	微調整登録の個別消去	30
5.7.3	微調整登録の全消去	31
5.8	変形折り・規格外用紙の折り位置登録／消去	
5.8.1	折り位置登録	32
5.8.2	折り登録の呼び出し	33
5.8.3	折り登録の全消去	34
5.8.4	登録の全消去	35
5.9	カウンタ	
5.9.1	加算モード	36
5.9.2	減算モード	37
5.9.3	インターバルモード	38
5.10	速度調整	39
5.11	重送検知機能	
5.11.1	重送検知機能とは	40
5.11.2	重送検知機能のON／OFF	40
5.11.3	重送検知機能の使用	41
5.11.4	重送検知エラー(E-52)で停止した場合	41
6.	保守・点検・消耗品	
6.1	点検・お手入れ時の注意事項	42
6.2	日常のお手入れ	42
6.3	消耗品について	42
6.4	折りカセットの脱着方法	43
6.5	折りローラの脱着と清掃	45
6.6	給紙・重送検知・排紙フォトセンサの清掃	46
6.7	用紙セパレータと給紙ゴムローラの脱着	47
6.8	折りブレーキの清掃／交換	48
6.9	折りブレーキのロック解除	51

7. トラブル時の処置

7.1 エラー表示	
7.1.1 エラー画面	52
7.1.2 エラーコード一覧	53
7.2 トラブルの内容と処置	54
7.3 故障の場合	55

8. 移設または廃棄するとき

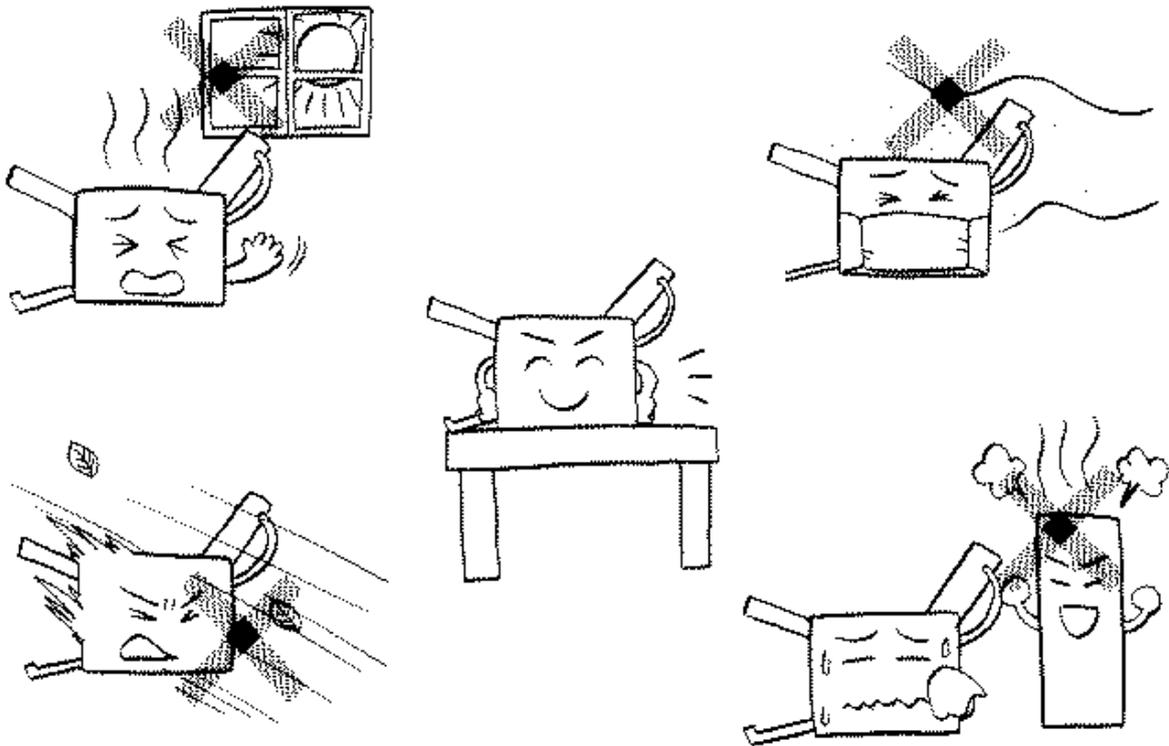
8.1 移設	
8.1.1 旧設置場所からの撤去作業	56
8.1.2 運搬	56
8.1.3 移設先での設置	56
8.2 廃棄	56

9. 製品仕様

1. 設置前の注意事項

1.1 : 設置場所の確認

- 次の条件を満たした場所に設置してください。
 - ・直射日光の当たる場所に設置しないでください。
 - ・窓際は避けてください。
 - ・湿気やホコリの多い場所は避けてください。
 - ・風の当たるところ、熱を発生する機器付近での使用は避けてください。
 - ・丈夫で水平な台又はテーブル上に設置してください。

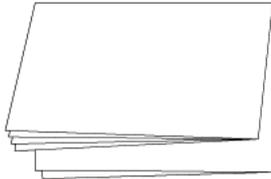


1.2 : 搬入時の注意

- ・衝撃や激しい振動が製品本体に加わらないように丁寧に取り扱いってください。
- ・保護手袋をし、2人で底面4隅をしっかり持って運搬してください。

1.3 : 付属品の種類・数量の確認

●開梱したら、付属品の確認をしてください。

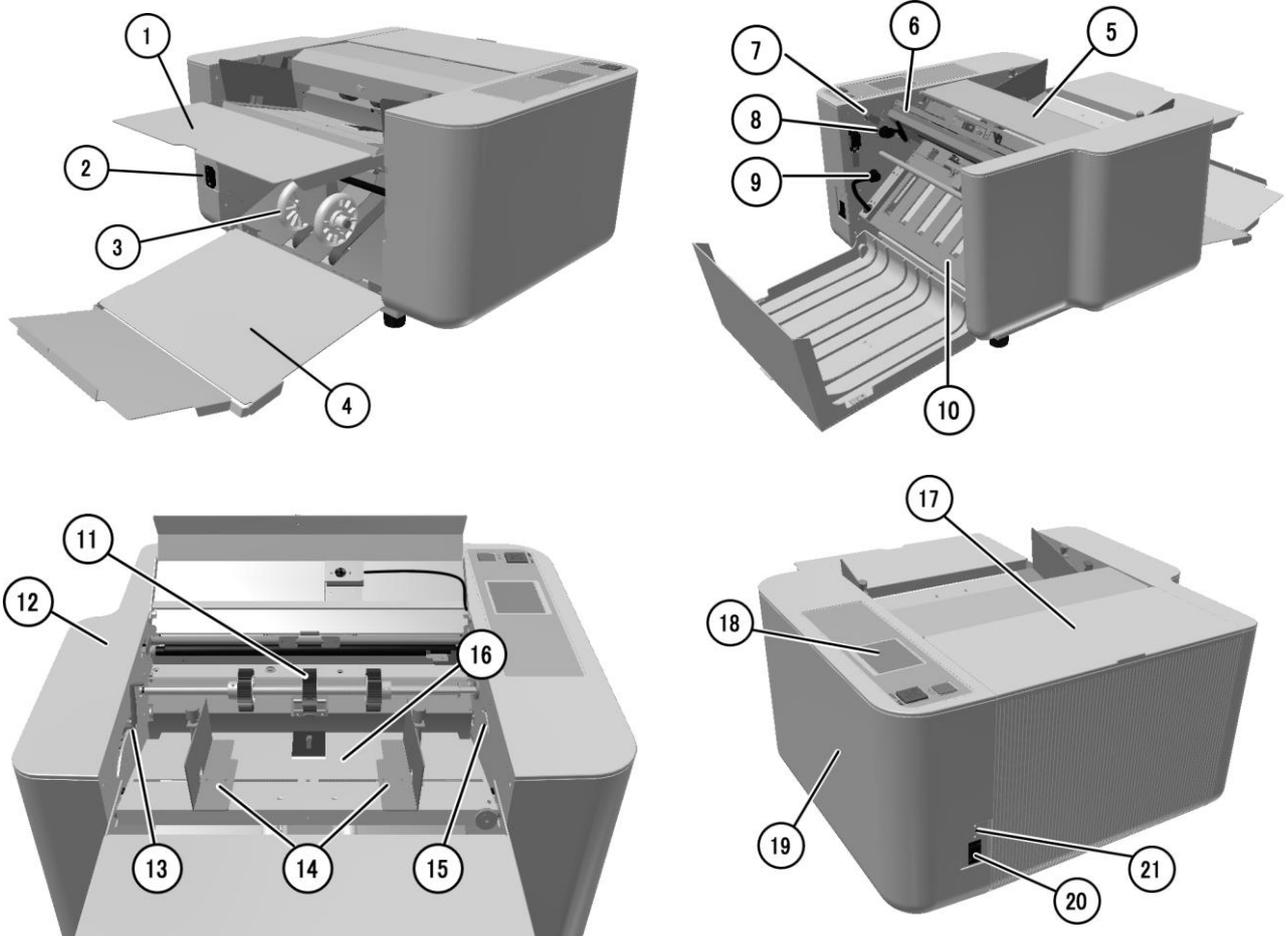
付属品	数量	図																																
電源コード	1																																	
補助用紙ガイド(左右)	各1																																	
取扱説明書 (この小冊子です)	1																																	
機械カバー	1																																	
保証書	1	<p>株式会社ライオン事務器 窓 FAX:0120-402599</p> <p style="text-align: center;">保証書</p> <table border="1"> <tr> <td>型 式</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>製 造 年 号</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ご購入年月日</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>貴 社 名</td> <td>TEL</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>FAX</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ご 住 所</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>部 課 名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>取組む店名・住所</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	型 式				製 造 年 号				ご購入年月日	年	月	日	貴 社 名	TEL					FAX		ご 住 所				部 課 名				取組む店名・住所			
型 式																																		
製 造 年 号																																		
ご購入年月日	年	月	日																															
貴 社 名	TEL																																	
		FAX																																
ご 住 所																																		
部 課 名																																		
取組む店名・住所																																		

※万一不足していたらすぐに販売店に連絡してください。

また、保証書の記入をお願いします。

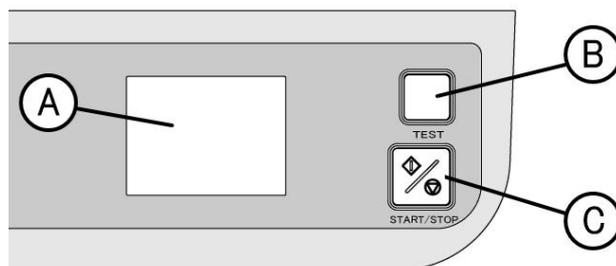
2. 製品各部の名称

2.1 : 外観



番号	名称	はたらき	番号	名称	はたらき
1	給紙補助テーブル	大きい用紙を支える。	11	給紙ゴムローラ	用紙を1枚だけ給紙。
2	インレット	電源コードをつなぐ。	12	左化粧カバー	メカ部の保護。
3	排紙ローラ	折った紙を整えて排出。	13	給紙圧レバー	給紙圧を調整する。
4	排紙テーブル	折った紙を蓄える。	14	用紙ガイド	給紙時の曲がり防止。
5	安全カバー	開けると動作が停止。	15	セパレータ圧レバー	セパレータ圧を調整する。
6	折りカセット1	1回目の折りを入れる。	16	給紙テーブル	用紙を載せる。
7	折りローラ脱着レバー	折りローラの脱着。	17	後カバー	メカ部の保護。
8	折りカセット1ソケット	折りカセット1の制御ケーブルをつなぐ。	18	操作パネル	枚数設定など。
9	折りカセット2ソケット	折りカセット2の制御ケーブルをつなぐ。	19	右化粧カバー	メカ部の保護。
10	折りカセット2	2回目の折りを入れる。	20	電源スイッチ	電源の入/切。
			21	プレーカ	過電流保護。

2.2 : 操作パネル



番号	名称	はたらき
A	タッチパネル	操作を進める。
B	「テスト」キー	テスト折りをする。
C	「スタート/ストップ」キー	スタートとストップ。

3. 特に注意していただきたいこと

3.1 : 用語の定義

3.1.1 : 取扱説明書のマーク解説

注意!特に注意していただきたいことです。

ポイント!知っているると便利なことです。

3.1.2 : 用語・折り形解説

名称	解説
ジャム	用紙が機械内部で詰まること
重送	2枚以上重ねて給紙すること
スリップ	用紙が滑って送り込まれないこと
さばく	用紙同士がはりついている状態をはがすこと

図						
折り形	2つ折り	4つ折り	片袖折り	内3つ折り	外3つ折り	観音折り

※図の着色部は、給紙テーブル上の用紙の上側の面を示します。

3. 2 : 特徴および使用目的

- ・見やすいカラーLCDタッチパネル搭載。
- ・用紙を高速で折ります。
- ・用紙サイズ検知・折り位置設定・給紙テーブル上下・排紙ローラ移動は自動です。
- ・折り位置変更時の待ち時間が無く、すぐに折り作業を開始できます。
- ・面倒な計算をしなくても用紙の長さで折り形を入力すると折り位置を自動計算します。
- ・変形折りを20通り記憶できます。
記憶内容は、折り位置・速度・排紙ローラ位置の3項目です。
- ・微調整位置36通り記憶できます。
- ・定形外サイズの用紙も、機械が用紙全長を自動計測します。
- ・インターバルモード搭載。
- ・重送検知機能搭載。
- ・クロス折り可能。

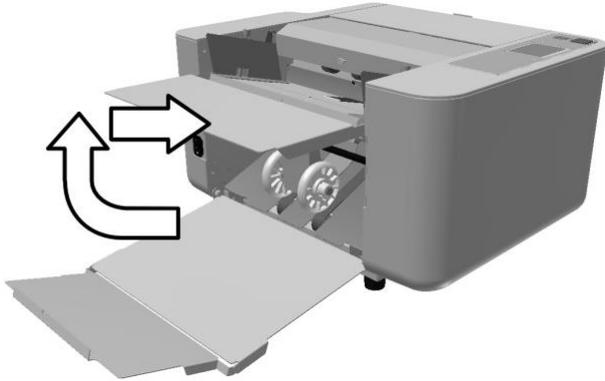
3. 3: 使用しないとき

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・機械カバーを掛けてください。

3. 4: 使用上の注意

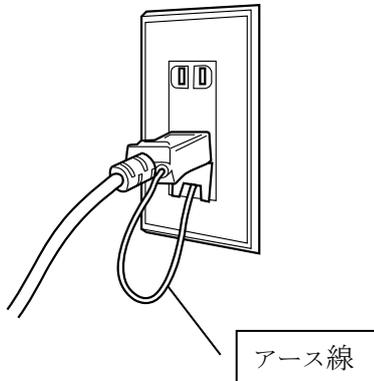
- ・安全カバーの開閉は中央を持って行ってください。用紙ガイドにはさまれる恐れがあります。
- ・特に重要な書類は事前に折りテストをし、折り位置の確認をしてください。
- ・理由を問わず、用紙の折りずれ・破損の補償はご容赦ください。

4. 使用前の準備



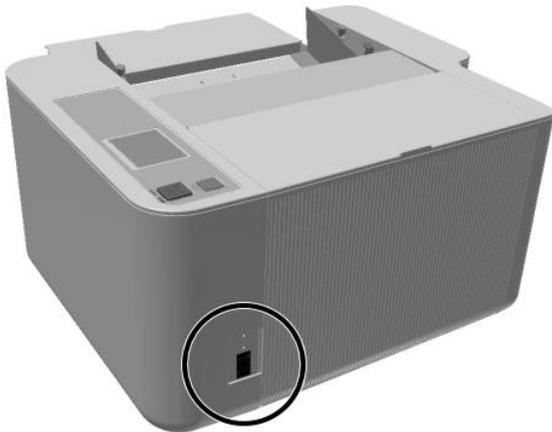
排紙テーブルを広げて、給紙補助テーブルを持ち上げるようにしてセットします。

電源コードをインレットとコンセントに差し込みます。
(プラグ形状は写真と異なる場合があります)



注意!

- ・電源コードは必ずほどいて使用してください。
- ・付属の電源コード以外は使用しないでください。
- ・電源コードのアース線は、必ず接地(アース)してください。



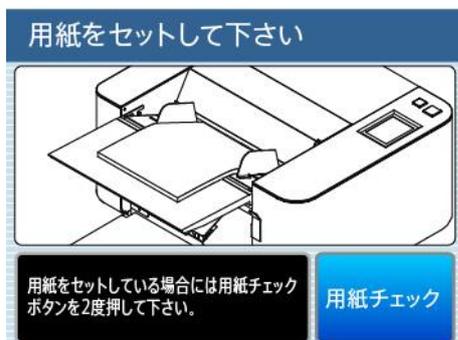
電源スイッチを入れると、タッチパネルが点灯して機械が使用可能になります。

 警告	
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源コードのアース線は、電源コンセントに挿入または接触させないでください。 火災・感電の原因になります。

5. 使用方法

5.1 : 規格用紙(A3・A4・B4・B5)の定形折り

(電源オンの直後の状態から説明します)

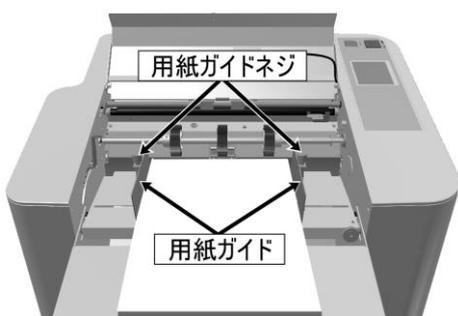


ポイント!

用紙をよくさばいてからセットして下さい。



紙と紙の間に空気を入れる
ようにして、よくさばきます



- ① 規格サイズの用紙をセットします
- ② 用紙ガイドネジを緩めて用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。
- ③ 用紙をきれいに揃えてから給紙テーブルにのせます。
- ④ 用紙ガイドを用紙に密着させて、用紙ガイドネジを締めます。

注意!

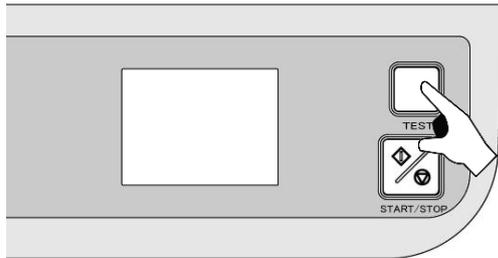
印刷直後の用紙はジャム・重送・スリップ・用紙のシワの原因になりますので、必ず乾いてから使用してください。



- ⑤ TOP画面で「定形折り」を選択します。



- ⑥ 折り形を指定します。
6種類（2つ折り・4つ折り・片袖折り・内3つ折り・外3つ折り・観音折り）の折り形から選択します。
任意の「折り形」キーを押してください。



- ⑦ 試し折りをします。
「テスト」キーを押すと、1枚折ります。
（カウンタの枚数表示は「0」のままです）
折り上がった用紙で仕上がりを確認します。

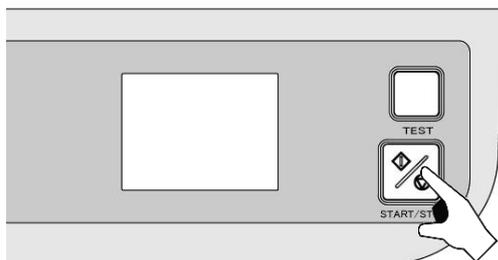
ポイント！

< 折りずれが発生する原因 >

- ・ローラが汚れている。
- ・用紙ガイドのセットが曲がって固定されている、又は用紙ガイドが用紙に密着していない。
- ・給紙テーブルが曲がっている。
- ・用紙の裁断が曲がっている。

< 折りずれを修整する場合 >

→「5. 6 調整」(25～28ページ)参照。



- ⑧ 連続折りをします。
「スタート/ストップ」キーを押すと、給紙テーブルが上がり連続して用紙を折ります。
動作中に、もう一度押すと停止します。カウンタは加算していきます。

必要な枚数のみ折りたい場合。

→「5. 9. 2 減算モード」(37ページ)参照。

排紙がスムーズにいかない場合。

→「5. 6. 3 排紙ローラの調整」(28ページ)参照。

5.2 : 規格外用紙の定形折り

5.2.1 : 用紙長さを自動で読み取らせる場合



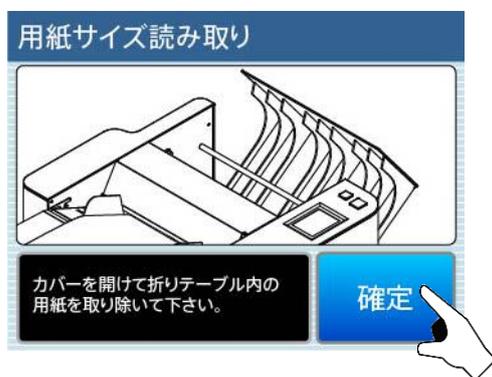
- ① TOP画面の「定型外用紙の定形折り」キーを押します。



- ② 「用紙サイズ読み取り」キーを押して、用紙を1枚給紙し用紙の全長を読み取ります。

注意！

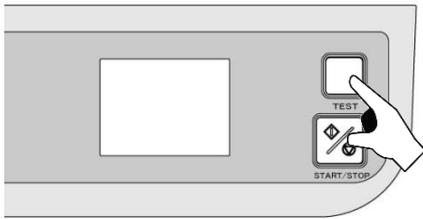
読み取り可能な範囲は、用紙の全長が最少 128mm～最大 457mm までです。



- ③ 給紙された用紙は後カバーを開けて取り除きます。
- ④ 取り除いた用紙を再度給紙テーブルにセットします。
- ⑤ 「確定」キーを押します。



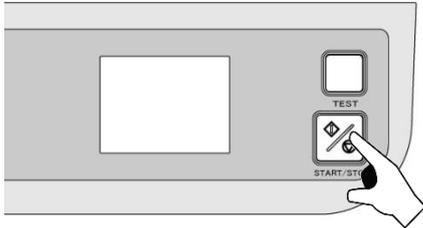
- ⑥ 折り方を指定します。
6種類の折り形の中から任意の「折り形」キーを押してください。



- ⑦ 「テスト」キーを押して試し折りをします。

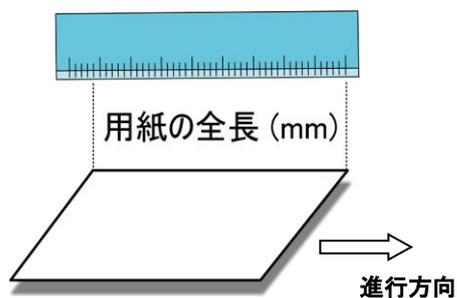
折りずれを修整する場合

→「5.6 調整」(25～28 ページ)参照



- ⑧ 「スタート/ストップ」キーを押して連続折りを開始します。

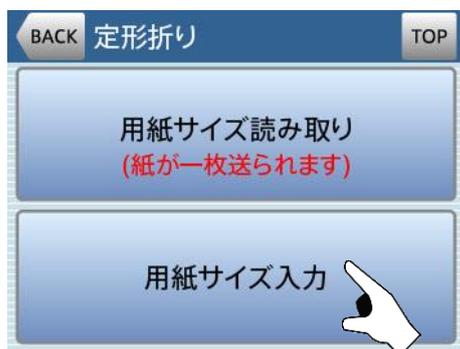
5. 2. 2 : 用紙長さを直接入力する場合



① 用紙の進行方向の全長を測ります。



② TOP画面の「定型外用紙の定形折り」キーを押します。



③ 「用紙サイズ入力」キーを押します。



④ テンキーで用紙の全長を入力し、「確定」キーを押します。(単位mm)

注意!

入力可能な範囲は、用紙の全長が
最少128mm～最大457mmまでです。



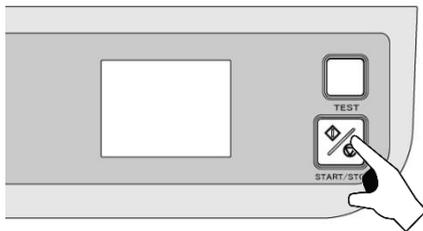
- ⑤ 6種類の「折り形」キーの中から任意の折り形を選択します。



- ⑥ 「テスト」キーを押して試し折りをします。

折りずれを修整する場合

→「5.6 調整」(25～28 ページ)参照



- ⑦ 「スタート/ストップ」キーを押して連続折りを開始します。

5.3 : 変形折り

- ・変形折りは、自動設定では折ることができない折り方を任意の設定で折ることができる機能です。
- ・規格用紙、規格外用紙いずれも下記手順で設定することが可能です。

ポイント！

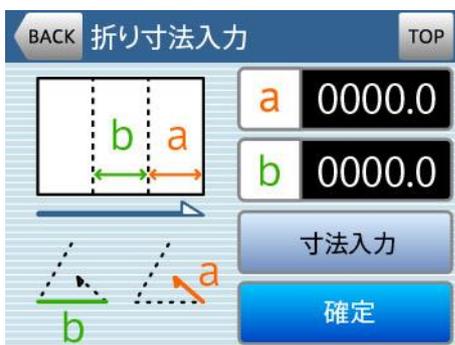
変形折りをしたい規格用紙、または規格外用紙を準備し、手で変形折りのサンプルを作ります。



- ① TOP画面の「変形折り」キーを押して、定型折り画面に移動します。



- ② 目的の折りに一番近い「折り形」キーを押します。



- ③ 事前に作成した折りサンプルで操作パネルに表示されたa、b寸法を測り、「寸法入力」キーを押します。



④ aの寸法をテンキーで入力後「確定」ボタンを押します。

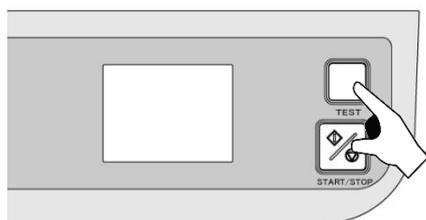


⑤ bの寸法をテンキーで入力後「確定」ボタンを押します。

※2つ折りはa寸法入力画面が無く、b寸法の入力のみとなります。



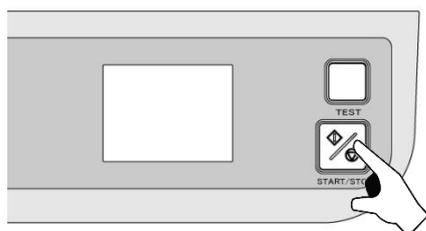
⑥ カウンタ画面に自動的に移動します。



⑦ 「テスト」キーを押して試し折りをします。

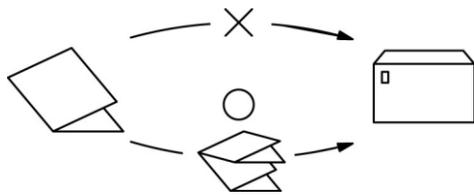
折りずれを修整する場合

→「5.6 調整」(25～28 ページ)参照



⑧ 「スタート/ストップ」キーを押して連続折りを開始します。

5.4 : クロス折り



- ・ クロス折りとは、2つ折りした用紙をさらに4つ折りや内3つ折りなどにするをいいます。
- ・ A3の用紙を4つ折りしただけでは封筒に入らない場合などにクロス折りをします。



※クロス折りに使用できる用紙は諸条件によって変動します。

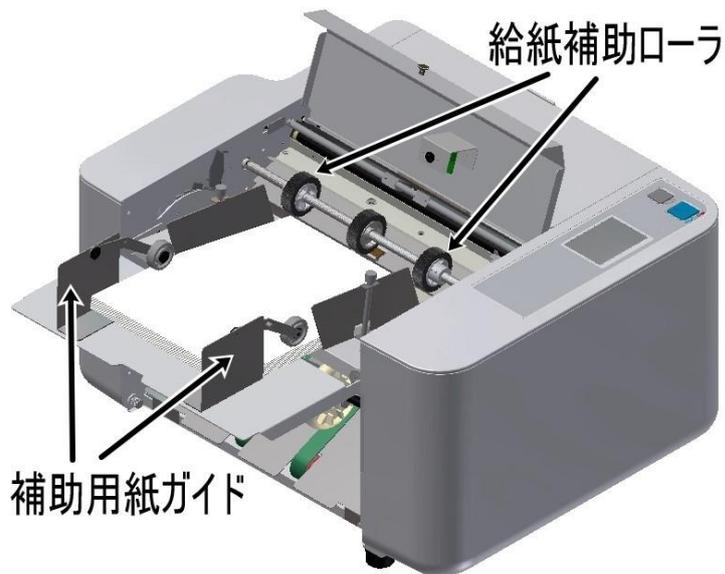
- ・ 用紙種類、用紙サイズ、縦目、横目、温度、湿度、印刷状態によっては、通常の折りより大きい折りずれ、また、折った角が内側に折れる現象が起こる場合がありますが、機械の故障ではありません。

注意!

2つ折りした折り目を手でよくしごきます。

用紙は少な目に積みます(30枚以下)。

補助用紙ガイドは、用紙ガイドにあたらないように目盛のシールより手前に置きます。



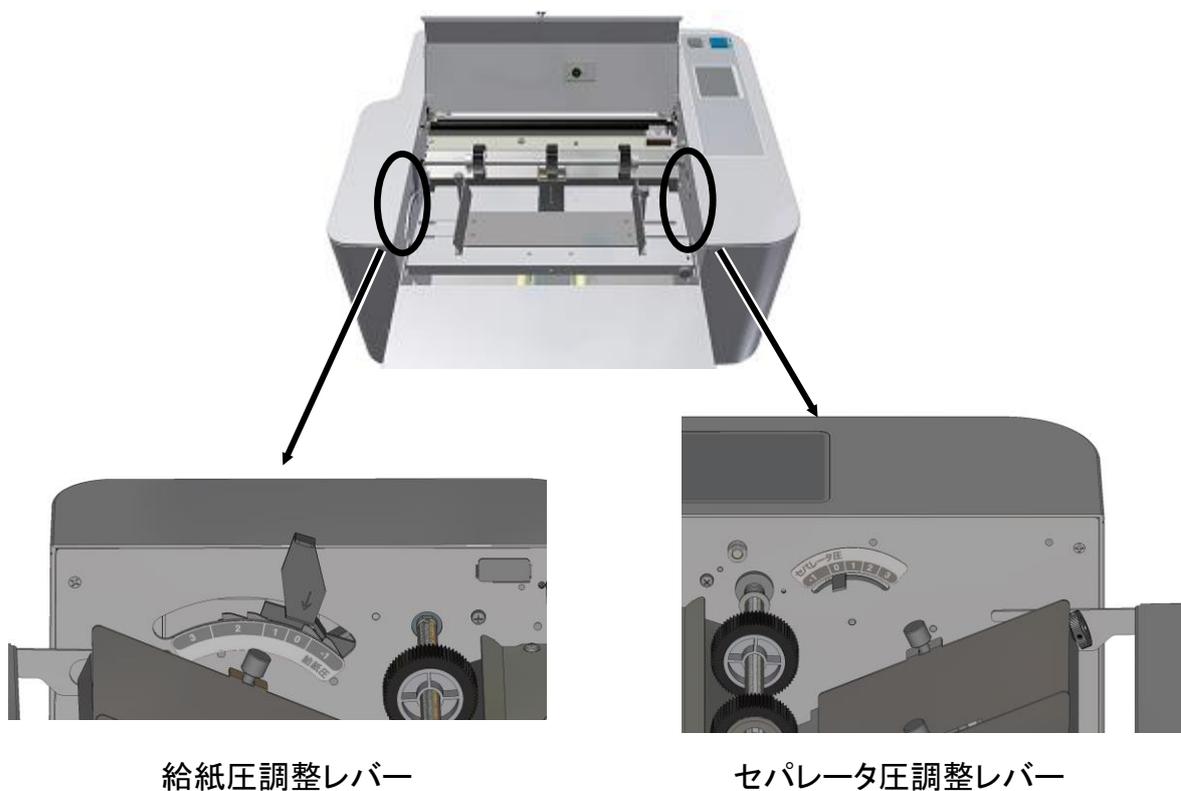
- ① 2つ折りにした用紙を給紙テーブルにのせ、用紙ガイドを密着させて固定します。
- ② 左右の給紙補助ローラのネジをゆるめて、用紙の両端をおさえる位置にセットします。
- ③ 補助用紙ガイドを、先端のベアリングが用紙のふくらみをおさえる位置に置きます。

注意!

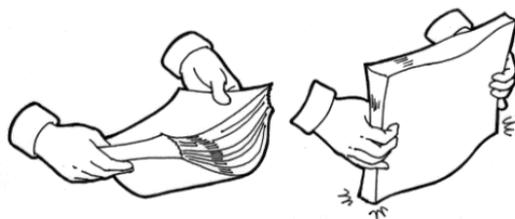
給紙補助ローラのホルダは樹脂製のため、ネジの締め過ぎによるホルダの破損に注意してください。

5. 5：給紙トラブル時の対処方法（給紙圧、セパレータ圧調整）

・給紙圧、セパレータ圧とも、「0」が基本設定位置になります。（-1、0、1、2、3 の5段階切り換え）



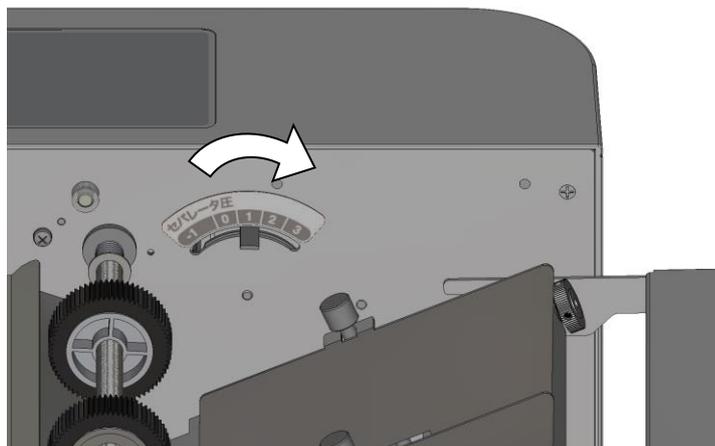
・上記の設定（給紙圧、セパレータ圧ともに「0」）で、用紙を良くさばいてから使用しても、複数枚給紙や給紙スリップが発生する場合は、24ページをご参照下さい。



紙と紙の間に空気を入れる
ようにして、よくさばきます

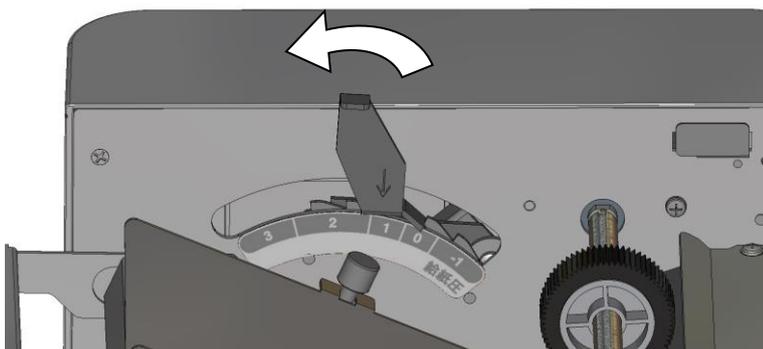
5. 5. 1 : 複数枚給紙が多発する場合

- ・前ページの絵を参考に、再度用紙をよくさばいてください。
- ・セパレータ圧調整レバーを数字の大きい方に変えてください。用紙をさばく力が強くなります。
- ・処理速度を1つ下げてください。



5. 5. 2 : 給紙スリップが多発する場合

- ・給紙圧調整レバーを数字の大きい方に変えてください。用紙を送る力が強くなります。
- ・処理速度を1つ上げてください。

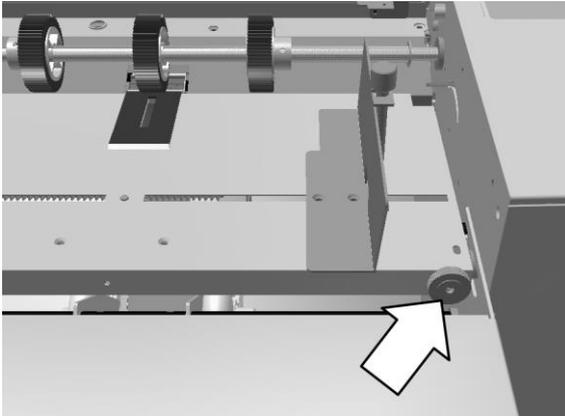


※上記方法でも改善しない場合は、消耗品を交換して下さい。

コート紙等、仕様範囲外の紙質は改善しない場合があります。

5.6 : 調整

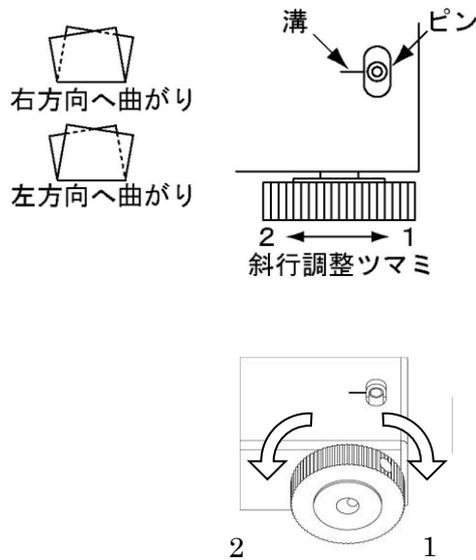
5.6.1 : 斜行調整



用紙裁断時の曲がり等が原因で折りが曲がる場合は、斜行調整ツマミで曲がりを修整します。

排紙された状態のまま見て、用紙の下面が右へ曲がった場合は斜行調整ツマミを1の方へ（時計回り）、左へ曲がった場合は2の方へ（反時計回り）回してください。

（基本位置はピンが溝のある中央にあります。）



注意!

用紙ガイドと用紙の間に隙間がないか確認してください。

2つ折り以外の場合はカセット1で折られた面を下にして斜行調整してください。

用紙を再セットした時は、斜行調整をし直してください。

作業後は斜行調整ツマミを基本位置に戻してください。

5. 6. 2 : 折り位置の微調整

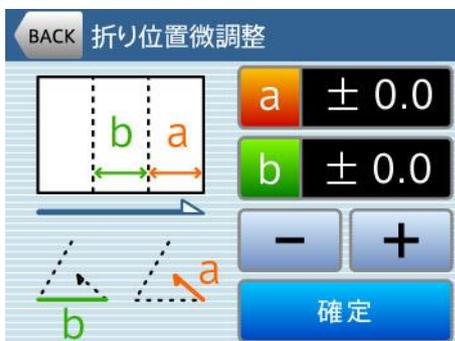
定形折り、変形折りの折りテストで折りずれがある場合、次の手順で折り位置の微調整を行います。



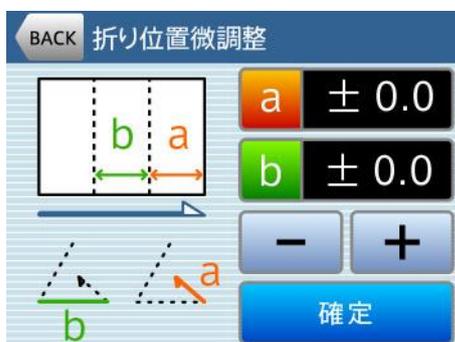
- ① カウンタ画面より「調整」キーを押して、調整画面に移動します。



- ② 「折り位置微調整」キーを押して、折り位置微調整画面に移動します。

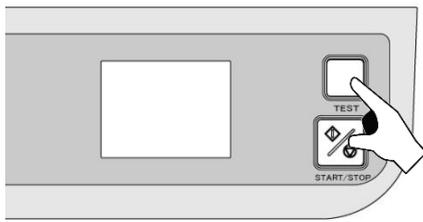


- ③ 「a±0.0」キーを押して、「-」「+」キーでaの寸法を微調整後、「確定」キーを押します。

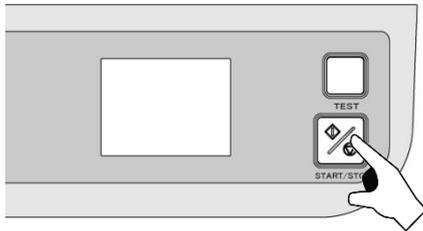


- ④ 「b±0.0」キーを押して、「-」「+」キーでbの寸法を微調整後、「確定」キーを押します。

※2つ折りはb寸法のみ入力。



- ⑤ 「テスト」キーを押して試し折りをします。
再調整が必要な場合は、(1)～(4)の手順を再度
行います。

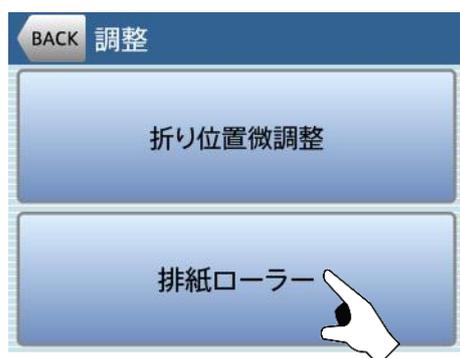


- ⑥ 「スタート/ストップ」キーを押して連続折りを開始
します。

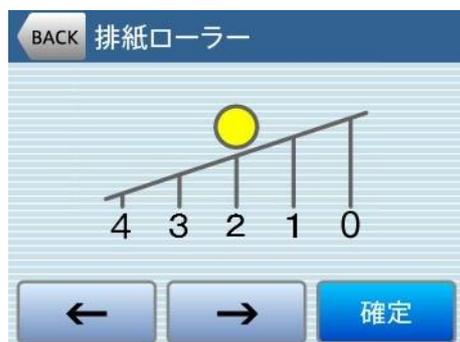
5.6.3 : 排紙ローラ位置の調整



① カウンタ画面より「調整」キーを押します。



② 調整画面に入り「排紙ローラ」キーを押します。



③ 排紙ローラ位置を「←」「→」キーで選択(5段階)して「確定」キーを押します。

ポイント！

規格用紙の定形折りは、折り位置、折り形、速度によって自動的に最適な位置に設定されます。

規格外用紙、変形折りの場合は、排紙ローラの位置を調整して下さい。

[目安]

- ・仕上がり寸法 大 排紙ローラ ⇒ 4の方向へ
- ・仕上がり寸法 小 排紙ローラ ⇒ 0の方向へ
- ・処理速度 高速 排紙ローラ ⇒ 4の方向へ
- ・処理速度 低速 排紙ローラ ⇒ 0の方向へ

5.7 : 規格用紙の折り位置の登録/消去

規格用紙の定形折りで折り位置の微調整をした場合、微調整後の折り位置を登録できます。

5.7.1 : 微調整位置の登録(微調整登録)

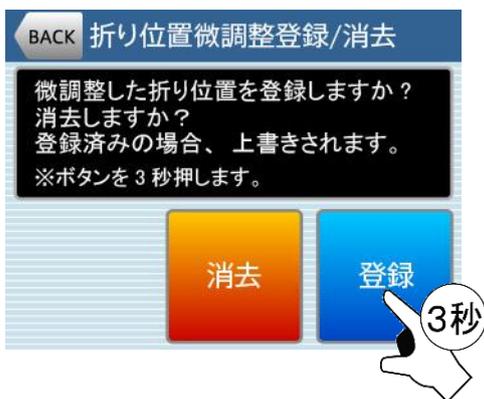
・登録したい任意の定形折りができるようにあらかじめ準備しておきます。



① カウンタ画面より「登録/消去」キーを押して、登録/消去画面に移動します。



② 「折り位置微調整 登録/消去」キーを押して、折り位置微調整登録/消去画面に移動します。



③ 「登録」キーを3秒間押すと、長いブザー音と同時に、カウンタ画面に移動します。
これで、微調整位置の登録は完了です。

5.7.2 : 微調整登録の個別消去

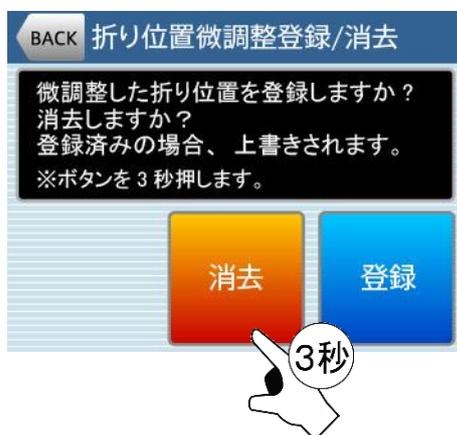
・微調整登録を削除したい定形折りができるようにあらかじめ準備しておきます。



- ① カウンタ画面より「登録/消去」キーを押して、登録/消去画面に移動します。



- ② 「折り位置微調整 登録/消去」キーを押して、折り位置微調整登録/消去画面に移動します。



- ③ 「消去」キーを3秒間押すと、長いブザー音と同時に、カウンタ画面に移動します。
これで、微調整位置の個別消去は完了です。

5.7.3 : 微調整登録の全消去

・登録した、全ての定形折りの微調整位置を消去します。



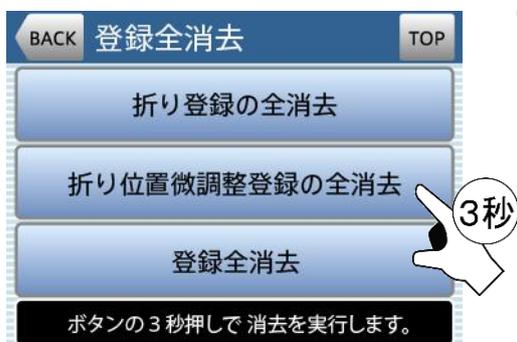
① 「TOP」キーを押して、TOP画面に移動します。



② 「歯車」キーを押して、設定画面に移動します。



③ 「登録全消去」キーを押して登録全消去画面に移動します。



④ 「折り位置微調整登録の全消去」キーを3秒押しすると、長いブザー音と同時にTOP画面に移動します。

これで、微調整登録の全消去は完了です。

5.8 : 変形折り・規格外用紙の折り位置の登録/消去

5.8.1 : 折り位置登録(折り登録)

・登録したい任意の折りができるようあらかじめ準備しておきます。



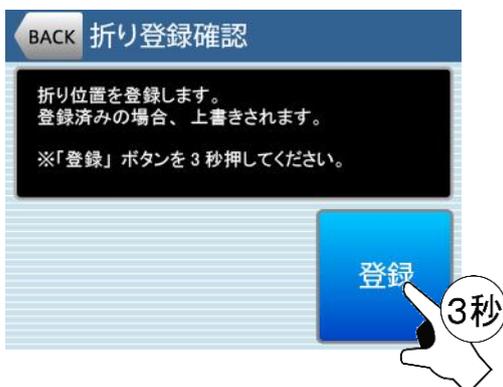
- ① カウンタ画面より「登録/消去」キーを押して、登録/消去画面に移動します。



- ② 「折り登録」キーを押して、折り登録画面に移動します。



- ③ 登録したい折り登録メモリNo.を選びます。
No.01～20までメモリがあり、「▲▼」キーでページが移動できます。
任意のメモリNo.を押すと、折り登録確認画面に移動します。



- ④ 「登録」キーを3秒押しすと、短いブザー音と同時にカウンタ画面に移動します。
これで、選択した折り登録メモリへの折り位置登録は完了です。

5. 8. 2 : 折り登録の呼び出し



- ① TOP画面から「登録折り」キーを押して、折り登録画面に移動します。

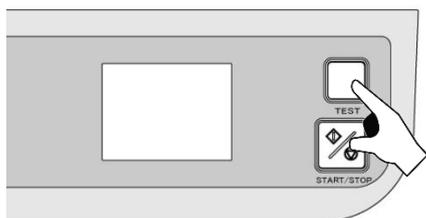


- ② 呼び出したい折り登録メモリNo.を選びます。
No.01～20までメモリがあり、「▲▼」キーでページが移動できます。
任意のメモリNo.を押すと、カウンタ画面に移動します。

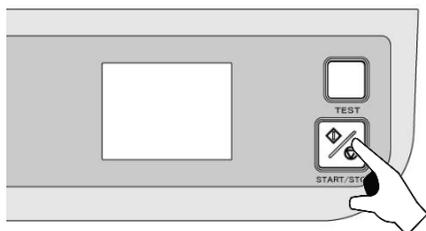
※サイズ、折り形、速度が同じ場合には、登録番号で識別して下さい。



- ③ カウンタ画面上部に、選択したメモリNo.が表示されます(「M」はメモリのM)。
用紙サイズ、折り形、速度、メモリNo.をご確認ください。



- ④ 「テスト」キーを押して試し折りをします。



- ⑤ 「スタート/ストップ」キーを押して連続折りを開始します。

5. 8. 3 : 折り登録の全消去

・全ての折り登録メモリを消去(リセット)します。



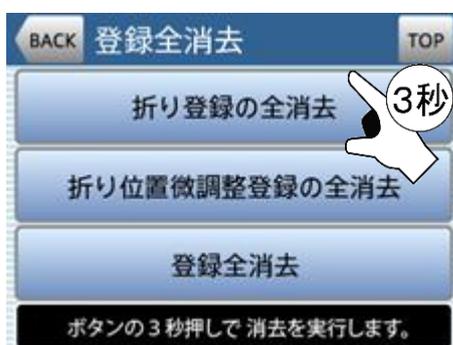
① 「TOP」キーを押して、TOP画面に移動します。



② 「歯車」キーを押して、設定画面に移動します。



③ 「登録全消去」を押して、登録全消去画面に移動します。



④ 「折り登録の全消去」を3秒押しすると、長いブザー音と同時にTOP画面に移動します。
これで、折り登録メモリの全消去は完了です。

5. 8. 4 :登録の全消去

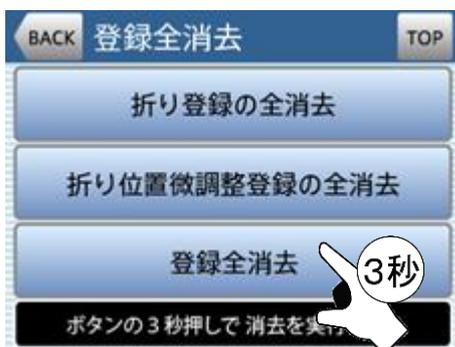
・微調整登録、折り登録のすべての登録を消去します。



① 「歯車」キーを押して、設定画面に移動します。



② 「登録全消去」を押して、登録全消去画面に移動します。



③ 「登録全消去」を3秒押しすると、長いブザー音と同時にTOP画面へ移動に移動します。これで登録の全消去は完了です。

定形用紙微調整登録	定形外用紙折り登録
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つずつ消去…………… 5. 7. 2 参照 ・ まとめて全消去…………… 5. 7. 3 参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つずつ消去…………… 出来ません。 ・ 上書きを行なう…………… 5. 8. 1 参照 ・ まとめて全消去…………… 5. 8. 3 参照
<p>ポイント!</p> <p>本体内すべての登録を一括削除 →5. 8. 4 参照</p>	

5.9 : カウンタ

5.9.1 : 加算モード

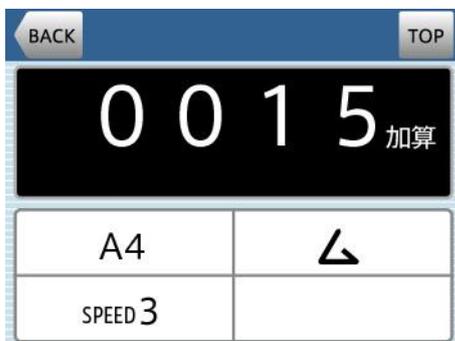
・折った枚数が加算されていきます。給紙が無くなるか、「スタート/ストップ」キーを押すまで動作します。



① カウンタ画面で「枚数設定」キーを押します。



② 「クリア」キーを押してカウンタをクリアし、「確定」キーを押します。



③ 加算モード時は、カウンタ表示部にカウントと「加算」が表示されます。

5.9.2 : 減算モード

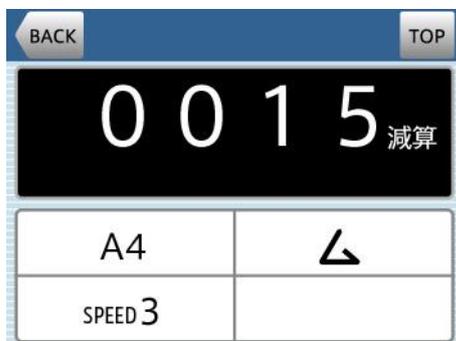
・任意の枚数を折る場合に使用します。カウントが「0」になるまで給紙します。



① カウンタ画面で「枚数設定」キーを押します。



② テンキーを使って折りたい枚数をカウンタに入力し、「確定」キーを押します。



③ 減算モード時は、カウンタ表示部に カウントと「減算」が表示されます。

5.9.3 : インターバルモード

・任意の「枚」数ごとに設定した「秒」数間を空け、それを「セット」数だけ動作します。



① カウンタ画面で「枚数設定」キーを押します。



② カウンタ入力画面で「インターバル」キーを押すと、インターバルの設定画面に移行します。



③ 「枚」、「秒」、「セット」キーを押して、それぞれの値を入力します。

・全ての入力が完了したら「確定」キーを押してカウンタ画面に戻ります。

・「解除」キーを押すとインターバルモードから抜けます。



④ インターバルモード中は、カウンタ表示部に「枚数」と「セット数」の2つの値が表示されます。



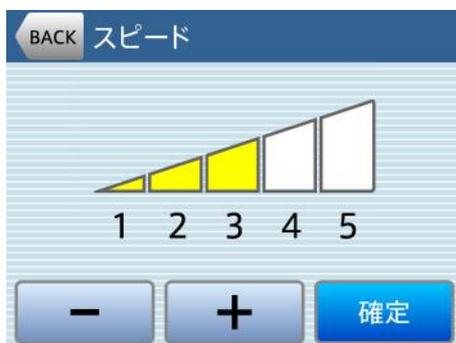
5.10 : 速度調整

・折りの処理速度を5段階で調整できます。

用紙の種類や折り方などに合わせた、最適な折り速度が選択できます。



① カウンタ画面で、「スピード」キーを押します。



② 「-」「+」キーでスピードを設定し「確定」キーを押します。

(画面上の黄色部分が速度を表します)

5.11 : 重送検知機能

5.11.1 : 重送検知機能とは

- ・重送を検知した時、用紙を折らずに折りカセット1の後端から排紙し、重送エラー(E-52)として動作を停止させる機能です。
- ・重送の他に、用紙の厚みや印刷の違いも検知します(この場合も「E-52」表示になります)。
- ・テスト折りよりも40mm以上(A4使用時)長い用紙が給紙された場合もエラーとなります。

※クロス折りを行う場合や異なる印刷物を混ぜて折る場合、または異なる厚みの用紙を混ぜて折る場合は、重送検知をOFFにして下さい。

5.11.2 : 重送検知機能のON/OFF



① 「歯車」キーを押して、設定画面に移動します。



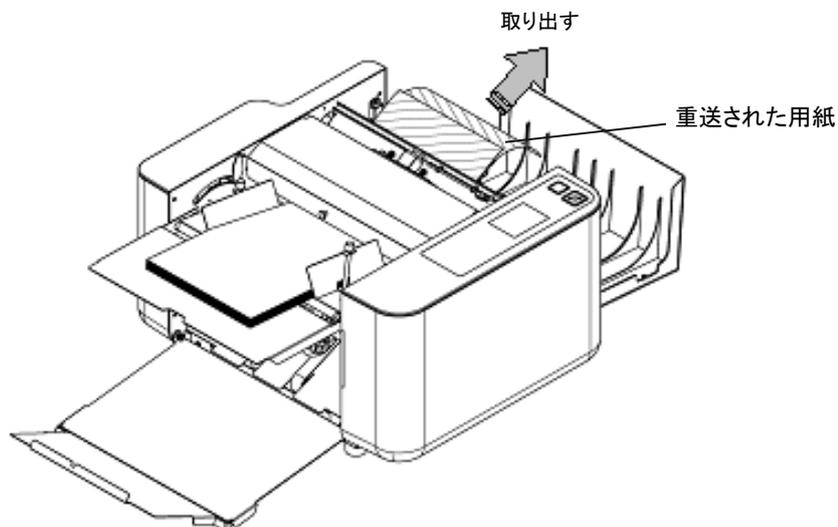
② 重送検知のON/OFFは、設定画面の「ON/OFF」キーを押すことで切り換えができます。
ON/OFFキーの左にある(ON)ランプが赤く点いていればON、消えていれはOFFとなります。

5. 11. 3 : 重送検知機能の使用

- ① 重送検知機能がONであることをご確認下さい。
- ② 任意の折り形を設定し、まずテスト折りをします。
テスト折りをした時の用紙の厚み、印刷、長さをチェックデータとして記憶し、それを基準に重送を検知します(テスト折りをしないと、チェックデータ無し(E-53)エラーになります)。
- ③ テスト折りで問題が無ければ、通常の折り作業を行ってください。

5. 11. 4 : 重送検知エラー(E-52)で停止した場合

- ① 後カバーを開け、重送された用紙を全て取り除いて下さい。
※自動的に排紙されません。
- ② 後カバーを閉めて「OK」キーを押し、エラー(E-52)を解除してください。
その後、給紙テーブルの用紙に問題が無いか確認し、折り作業を再開してください。



6. 保守・点検・消耗品

6.1 : 点検・お手入れ時の注意事項

 警告	
	点検・手入れ時には電源プラグをコンセントから抜いてください。 ケガ・感電の恐れがあります。

6.2 : 日常のお手入れ

機械本体

- ・折りローラ、ブレーキゴムに紙粉やホコリがたまると紙折りに支障をきたす場合がありますので、使用しない時は機械カバーをかけてください。
- ・外装部の汚れはアルコール又は清掃用クリーナを使用してください。
溶剤系の洗浄液は変色の原因になるので使用しないでください。

折りローラ

- ・折りローラに 紙粉及び印刷物のインクが付着するとシワ、紙詰まり等トラブルの原因になるので、定期的にゴムローラ専用クリーナと布を用いて清掃してください。
- ・折りローラは1本ずつ、ゴムローラ専用クリーナを浸した布で力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。

ブレーキゴム

- ・ブレーキゴムに紙粉、及び印刷物のインクが付着するとシワや紙詰まり等トラブルの原因になるので、定期的にゴムローラ専用クリーナと布を用いて清掃してください。
- ・ブレーキゴムは、ゴムローラ専用クリーナを浸した布で力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。

給紙ゴムローラ

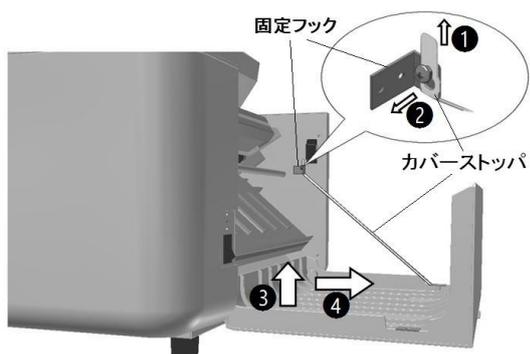
- ・給紙ゴムローラや用紙セパレータに紙粉、及び印刷物のインク等が付着すると給紙性能が低下してしまい、紙詰まりやスリップの原因になるので、ゴムローラ専用クリーナを用いて清掃してください。

*ゴムローラ専用クリーナ LG-CL500 : 注文コード 846-24

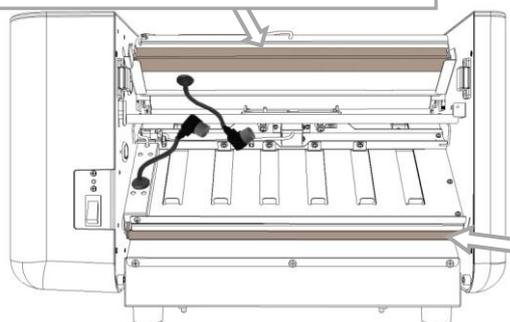
6.3 : 消耗品について

- ・製品に使用されている給紙ゴムローラ、ブレーキゴム、用紙セパレータ、折りブレーキは消耗品です。
交換が必要な場合は、お買い求め販売店までご連絡ください。

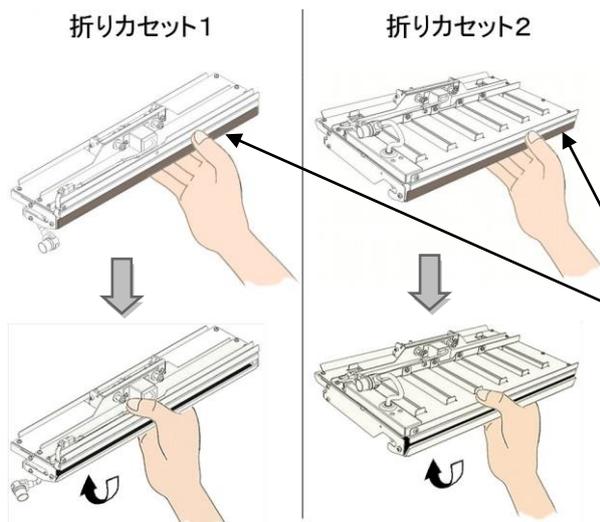
6. 4：折りカセットの脱着方法



折りカセット 1 ロック解除レバー



折りカセット 2 ロック解除レバー

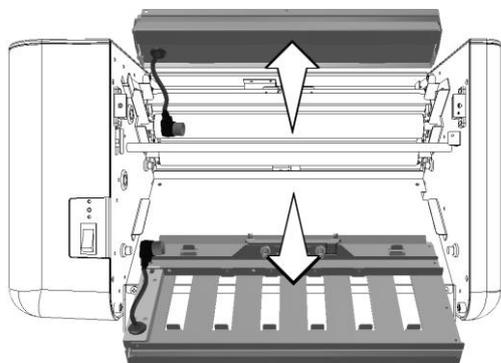


- ① 電源スイッチをOFFにし、後カバーを開けます。
- ② 後カバーを次の手順で外します。
 - ① カバーストップを上へ引っ張ります。
 - ② カバーストップを固定フックから抜き取ります。
 - ③ 後カバーを少し上へ持ち上げ、軸から外します。
 - ④ 後カバーを矢印の方向へ引き抜きます。
- ③ 各折りカセットから本体へ繋いであるケーブルのプラグを本体のソケットから2つとも引き抜きます。

- ④ 折りカセットを図のように持ち、ロック解除レバーを矢印方向に押し込んでロックを解除します。

ロック解除レバー

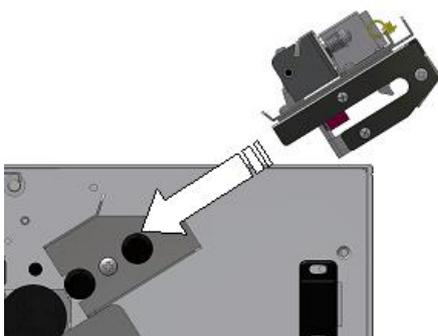
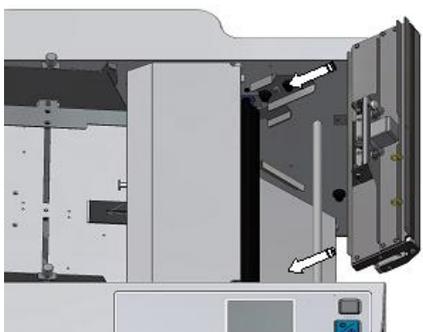
※各折りカセット後端部分がロック解除レバーになっています。



- ⑤ ロック解除レバーを押しながら、折りカセットを引き抜いて下さい。

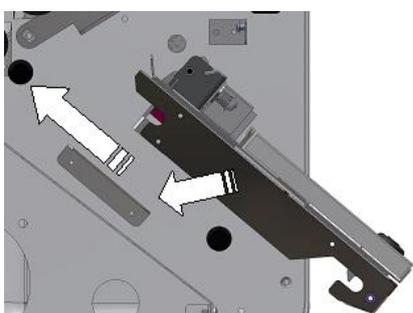
※後カバーや折りカセットなどの位置に関しては「2. 1: 外観」もご参照ください。

[折りカセット1のセット方法]

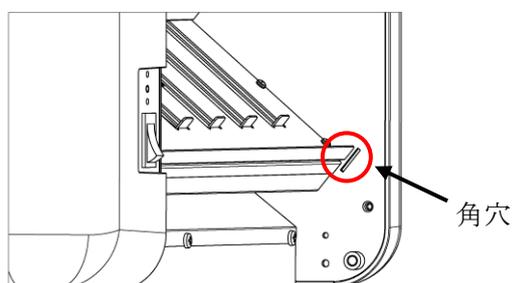


- ① 折りカセット1をガイドに合わせて矢印の方向に差し込んでください。
- ② ロック解除レバーを押さずに抜けないか確認してください。
- ③ 折りカセット1の制御ケーブルのプラグを本体の折りカセット1ソケットに差し込んでください。

[折りカセット2のセット方法]



- ① 折りカセット2をガイドに合わせて矢印の方向に差し込んでください。その際、筐体内側面の角穴の見えるまで押し込んで下さい。
- ② ロック解除レバーを押さずに抜けないか確認してください。
- ③ 折りカセット1の制御ケーブルのプラグを本体の折りカセット1ソケットに差し込んでください。



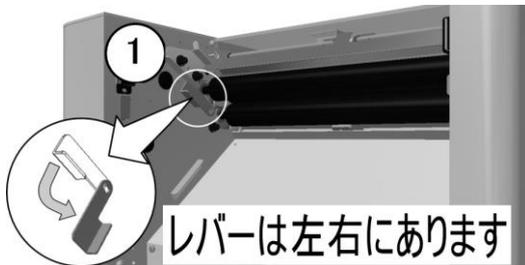
	 注 意
	折りカセット1・2が正しくセットされているか確認してください。 折りカセットが外れると、ケガや故障の原因になります。

6.5 : 折りローラの脱着と清掃

- ・工具を使用しないで2本の折りローラを脱着することができます。
- ・脱着する事で、ローラや排紙フォトセンサの清掃が簡単になります。
- ・残りの2本のローラは脱着できないので、少しずつ回しながら清掃します。

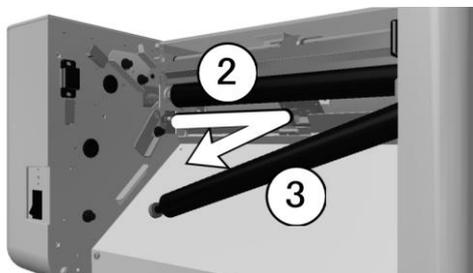
[折りローラの外し方]

- ・後カバーと折りカセット1、2を外しておきます。
→「6. 4: 折りカセットの脱着方法」(43ページ)参照



- ① ローラ脱着レバーをOFFに(下げる)します。
※ローラ脱着レバーは左右にあります。

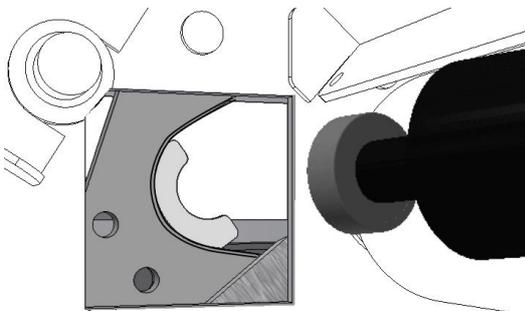
- ② 上側の折りローラを右にずらします。
(左穴から軸が外れます)



- ③ 右穴からローラを外します。
同じ手順で、下側の折りローラを外します。

- ④ 4本の折りローラを清掃します。

- ・清掃後は外した時と逆の手順で下側の折りローラから付けていきます。

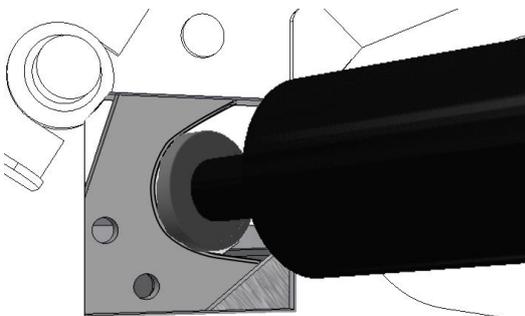


[折りローラの付け方]

- ① ローラを右奥まで差し込みます。

- ② ローラを左にスライドさせます。

- ③ ローラ脱着レバーをONに(上げる)します。



注意!

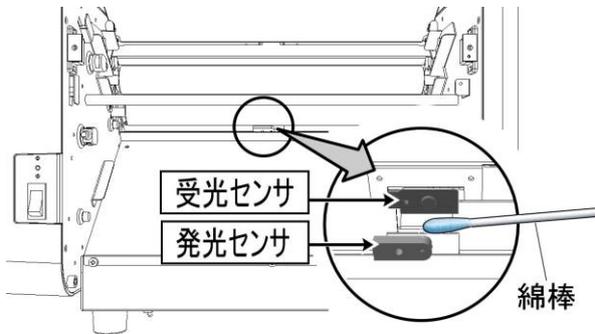
確実に折りローラがセットされていないと故障の原因になります。

セットできない場合は、裏表紙に掲載されている連絡先までお問合せください。

6.6 : 給紙・重送検知・排紙フォトセンサの清掃

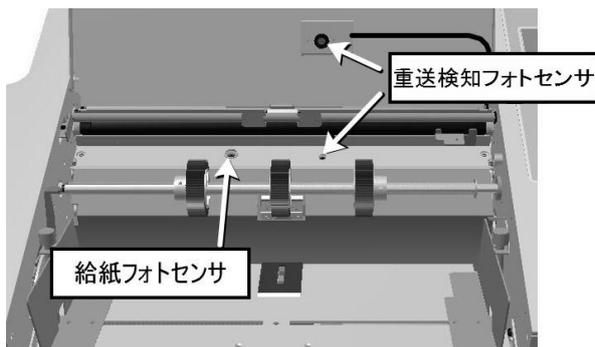
・給紙しない、または1枚目でのエラーが多発する場合、排紙フォトセンサを清掃することで解決できます。
以下の手順で清掃してください。

[排紙フォトセンサの清掃]



- ① 折りローラを外してください(45ページ参照)。
- ② 排紙フォトセンサに付着した紙粉などの汚れを、やわらかい綿棒で取り除いてください。

[給紙・重送検知フォトセンサの清掃]



- ① 安全カバーを開きます。
- ② 給紙フォトセンサの表面(黒い樹脂面)と、重送検知フォトセンサの表面を、やわらかい清潔な綿棒で清掃して下さい。
(又は、エアードスターを吹き付けてください)

注意!

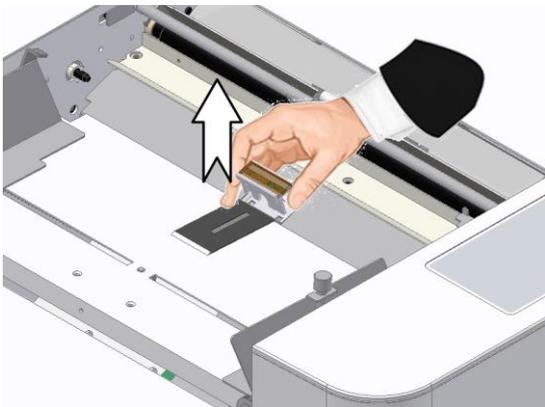
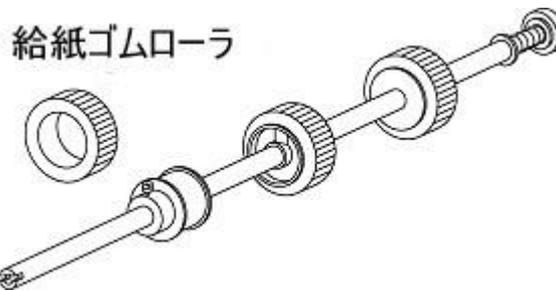
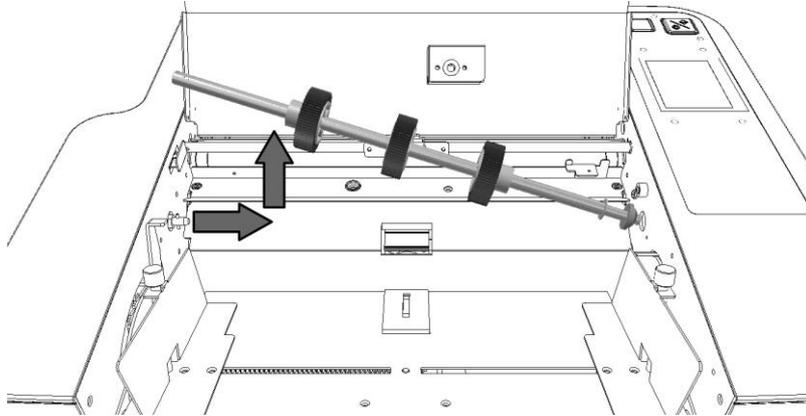
綿棒で清掃する際には、糸くずを残さないようにしてください。

清掃が不十分だと症状が改善されません。

清掃後は、センサが十分に乾いてから電源を入れてください。

6.7 : 用紙セパレータと給紙ゴムローラの脱着

・給紙ゴムローラと用紙セパレータを交換する際は、下記の要領で取外しを行ってください。

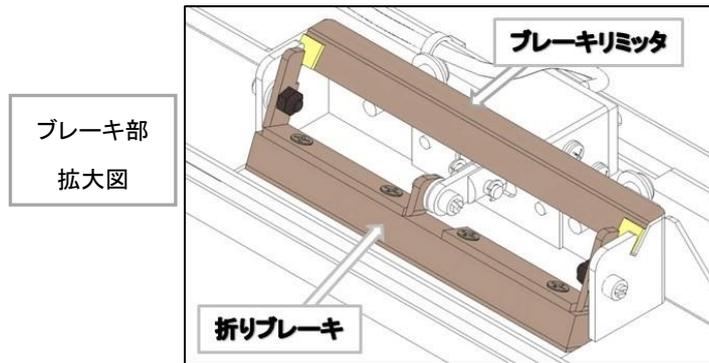


・用紙セパレータ(樹脂付)の両端を持ち、引き抜きます。
取り付けは逆の要領で行います。

・上記部品はご購入の販売店へご発注ください。

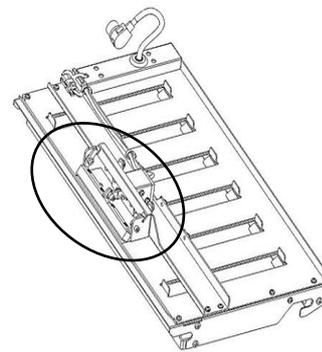
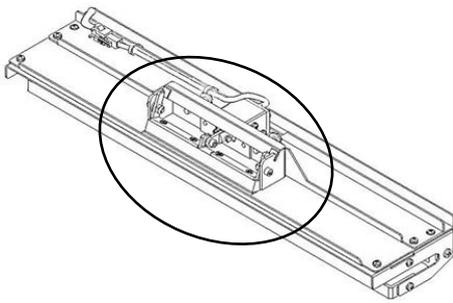
6.8 : 折りブレーキの清掃／交換

[ブレーキ部 各部名称とブレーキ位置]

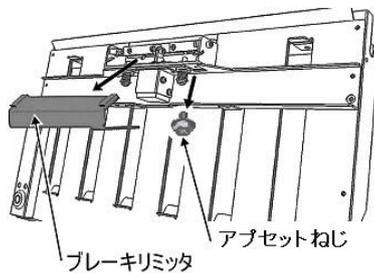


折りカセット1のブレーキ位置

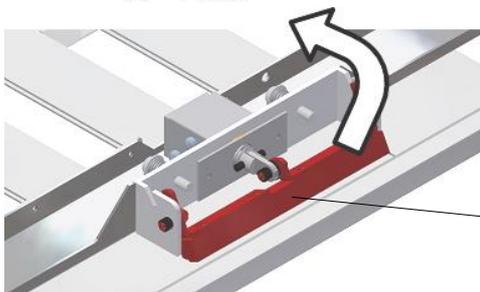
折りカセット2のブレーキ位置



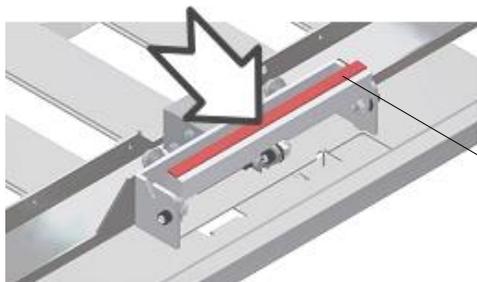
[ブレーキゴムの清掃]



- ① プラスドライバでアプセットねじ(六角形の白いねじ)を回して外しブレーキリミッタを取り外して下さい。

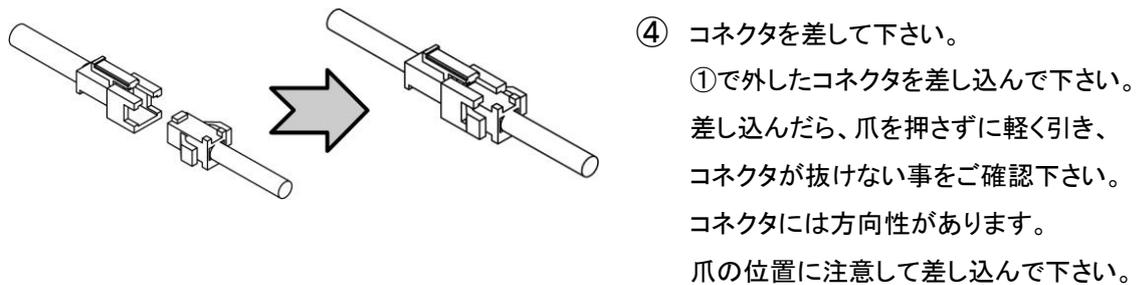
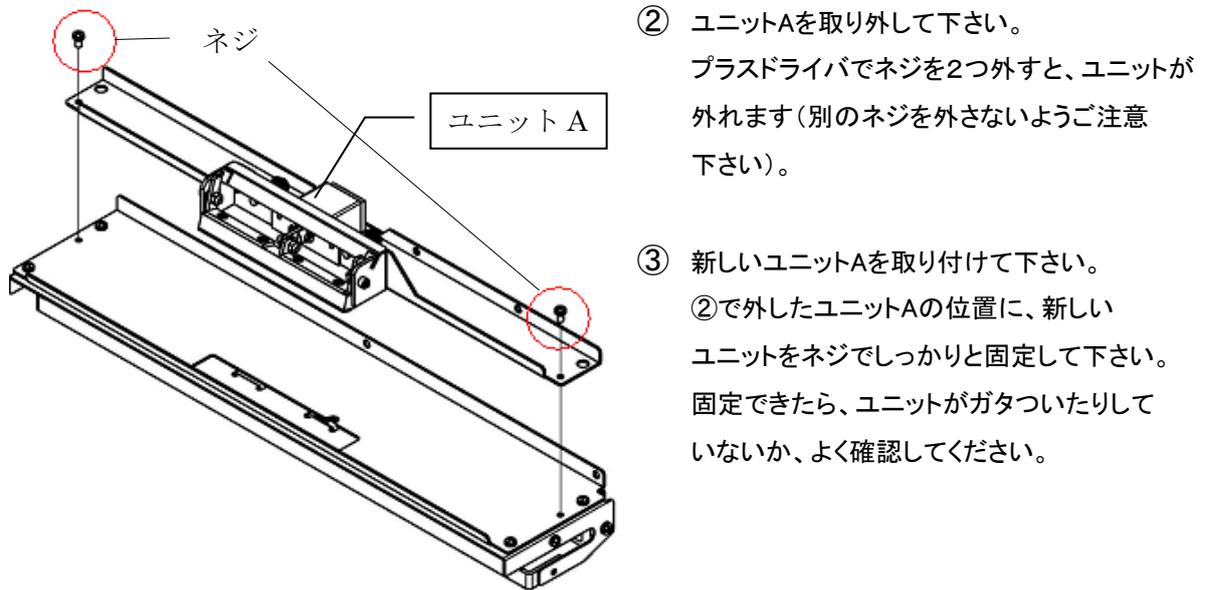
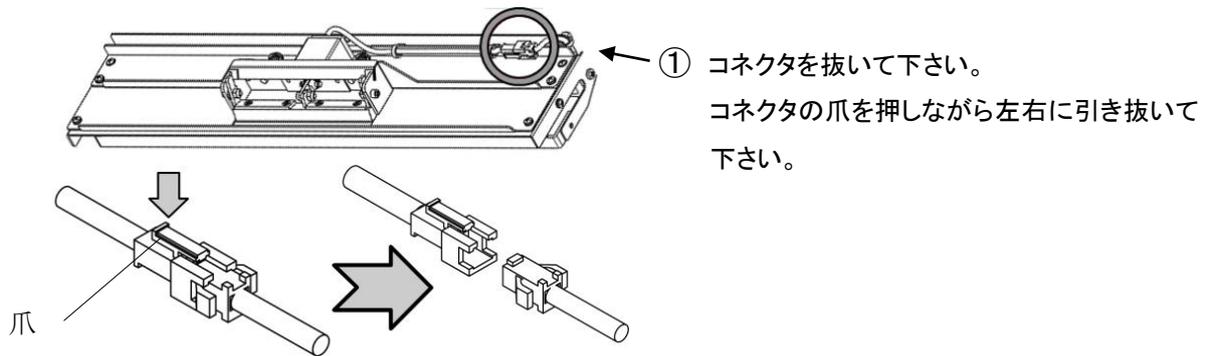


- ② ブレーキリミッタを取り外すと、折りブレーキが回転できます。

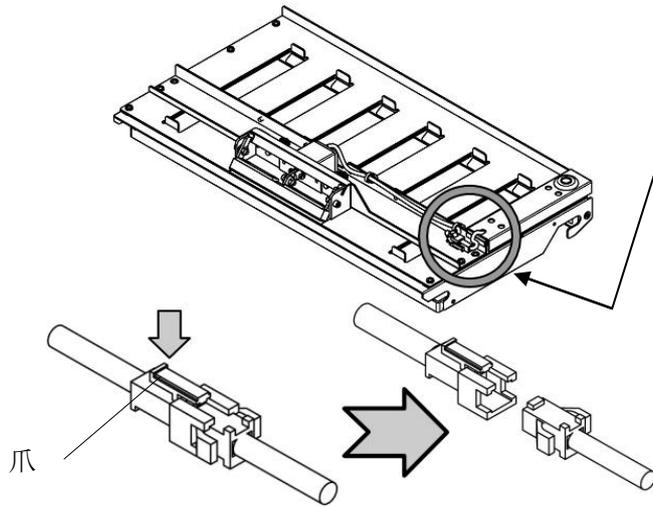


- ③ ブレーキゴムは専用クリーナを浸した布で清掃して下さい。
→「6.2 日常のお手入れ」(42ページ)参照

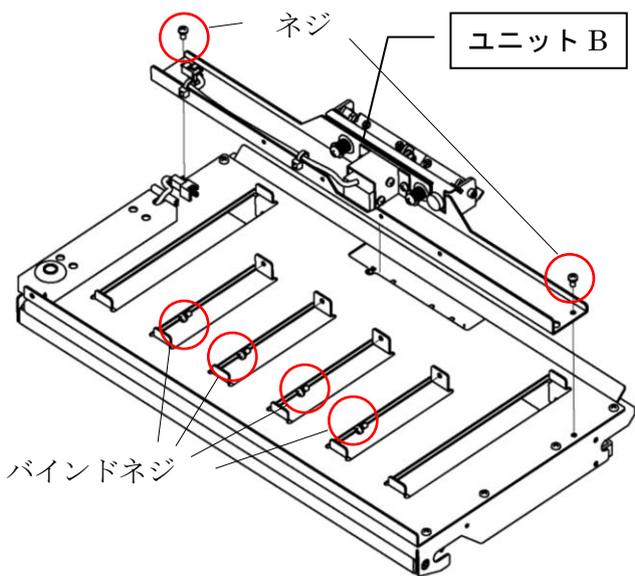
[ブレーキユニットの交換 - 折りカセット1]



[ブレーキユニットの交換 - 折りカセット2]

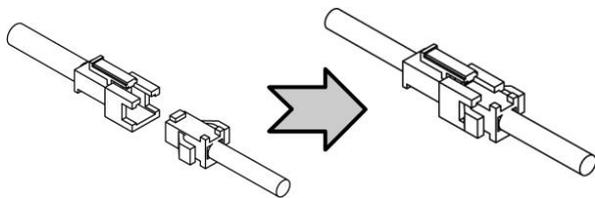


- ① コネクタを抜いて下さい。
コネクタの爪を押しながら左右に引き抜いて下さい。



- ② ユニットBを取り外して下さい。
プラスドライバーでネジを6つ外すと、ユニットが外れます(別のネジを外さないようご注意ください)。

- ③ 新しいユニットBを取り付けて下さい。
②で外したユニットBの位置に、新しいユニットをネジでしっかりと固定して下さい。
この際、2種類あるネジを間違えないようご注意ください。
固定できたら、ユニットにガタつきなど無いか、よく確認して下さい。

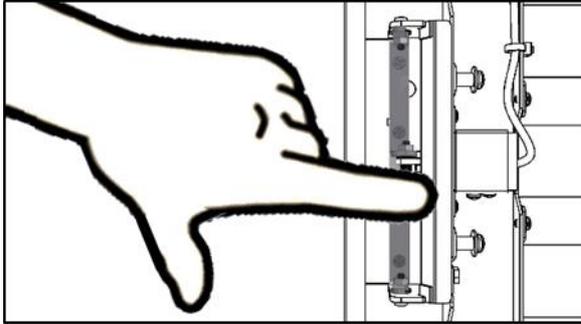


- ④ コネクタを差して下さい。
①で外したコネクタを差し込んで下さい。
差し込んだら、爪を押さずに軽く引き、コネクタが抜けぬ事をご確認下さい。
コネクタには方向性があります。
爪の位置に注意して差し込んで下さい。

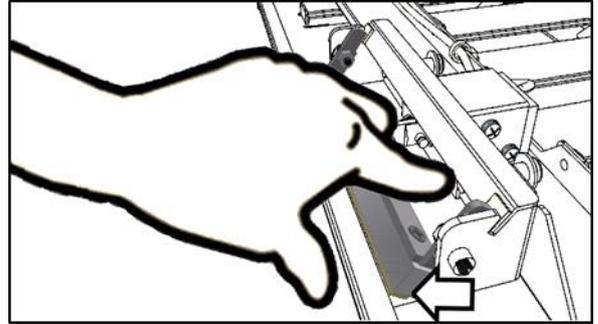
6.9 : 折りブレーキのロック解除

- ・用紙の先端が 2cm 程しか折れない場合、折りブレーキがロックしている可能性があります。
- 下記をご参照いただき、折りブレーキを上側に持ち上げ、ロックを解除して下さい。

- ①ブレーキリミッタと折りブレーキの間に指を入れます。

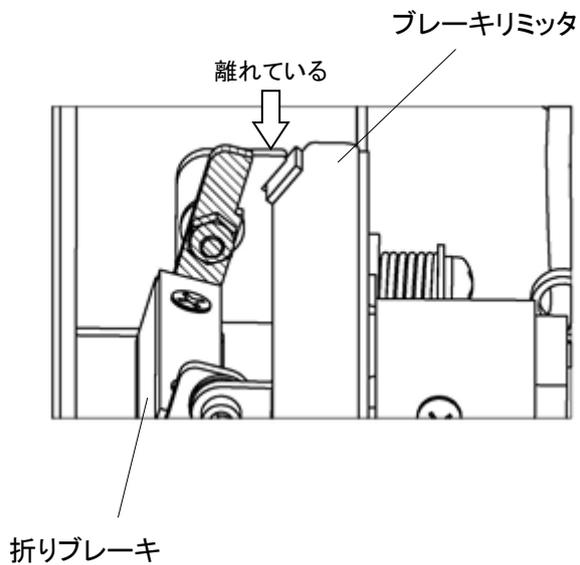


- ②折りブレーキを指で矢印方向に引っ張ります。



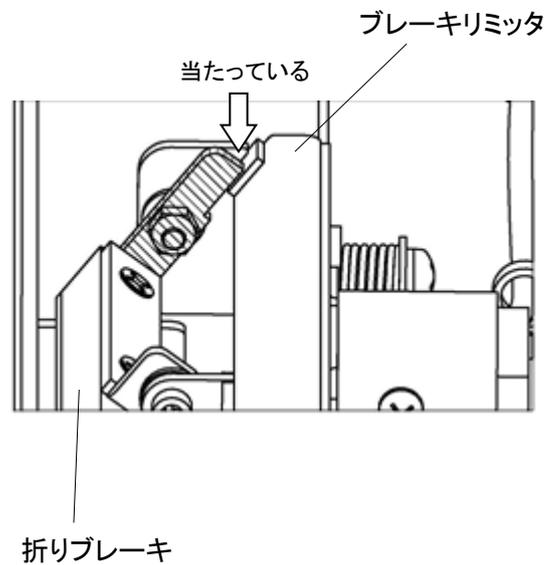
折りブレーキがロックしている状態

動作していない状態で、折りブレーキとブレーキリミッタが離れていたらロック状態。



正常な状態

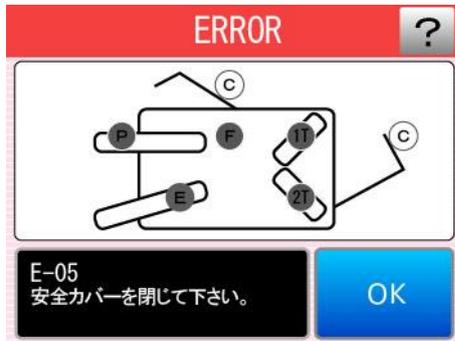
動作していない状態で、折りブレーキがブレーキリミッタに当たっていれば正常。



7. トラブル時の処置

7.1: エラー表示

7.1.1: エラー画面



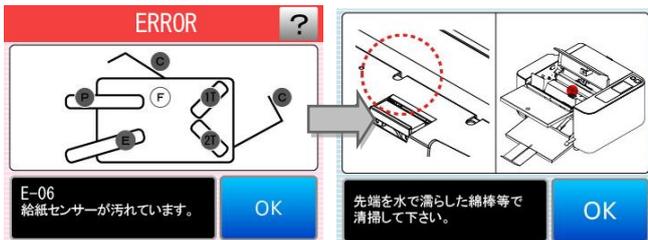
・エラー発生時は、ジャムマップにエラーランプとエラーコード(エラー内容)を表示します。

・エラー原因を取り除き「OK」キーを押すと、エラー表示を解除します。

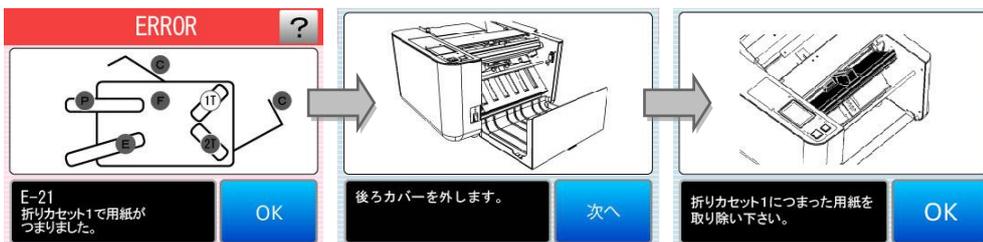
・「？」キーを押すと 主要なエラーの対処画面に移動します。

[代表的なエラーの対処画面]

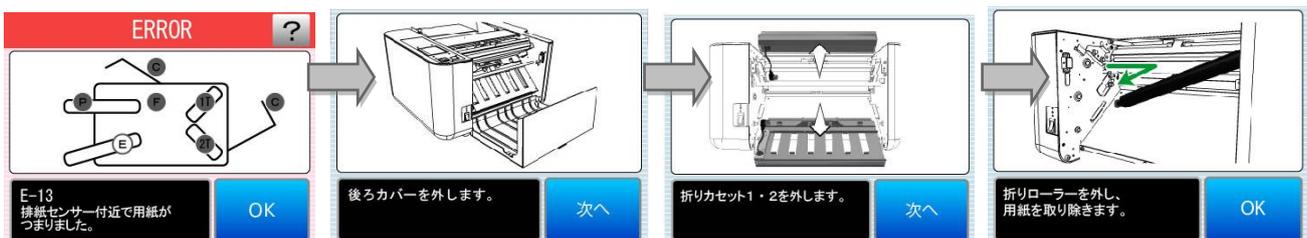
E-06



E-21



E-13



7.1.2 : エラーコード一覧

エラーコード	エラーの内容	エラーの対処
E-04	用紙が送られませんでした。	給紙スリップです。 用紙をセットし直し、再スタートして下さい。
E-05	安全カバー(上カバー、後カバー)が開いています。	開いている安全カバーを閉じて下さい。
E-06	給紙センサが汚れています。	給紙フォトセンサを清掃して下さい(P46、6.6 参照)。
E-07	給紙部分で用紙が詰まりました。	用紙を取り除き、再スタートして下さい。
E-13	機械内部で用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いて下さい。
E-14	排紙センサが汚れています。	排紙フォトセンサを清掃して下さい(P46、6.6 参照)。
E-15	排紙センサまで用紙が届きませんでした。	後カバーを外して、用紙を取り除いて下さい。
E-21	折りカセット1で用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いて下さい。
E-22	折りカセット2で用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いて下さい。
E-23	カセット1に用紙が届きませんでした。	カセット1をセットし直してください。 ブレーキロックをご確認下さい。
E-24	カセット2に用紙が届きませんでした。	カセット2をセットし直してください。 ブレーキロックをご確認下さい。
E-25	カセット1で用紙が折れませんでした。	カセット1またはカセット2に用紙が残っていないか確認して下さい。
E-26	カセット2で用紙が折れませんでした。	カセット1またはカセット2に用紙が残っていないか確認して下さい。
E-51	ずれ送り発生。	排紙された用紙を確認して下さい。また積まれている用紙を良くさばき、再スタートして下さい。
E-52	用紙が2枚以上送られました。	用紙が重送しました。後カバーをあけて用紙を取り除いてください。また、積まれている用紙を良くさばき、再スタートして下さい。
E-53	チェックデータ無し。	重送検知がONになっています。 テストボタンから折りを開始してください。
E-54	入力した折り位置が仕様の最低寸法以下です。	用紙サイズ、折り形を確認して下さい。
E-55	折り位置の設定が長過ぎます。	折り位置の設定を短くして下さい。 後端から35mmは折れません。
E-56	インターバルモードでのセット数が「0」です。	セット数に「0」以外「1」以上の値を入力して下さい。
E-90	EEPROM チェックサム・エラー。	電源を再投入して下さい。 解消されない場合はお問合せ下さい。
E-91	タッチパネル通信エラー。	電源を再投入して下さい。解消しない場合はお問合せ下さい。

7.2 : トラブル内容と処置

現象	原因	処置	参照
折りずれが生じる	微調整がされていない。	折り位置の微調整を行う。	5. 6, 2 折り位置の微調整
	折りローラが汚れている。	折りローラ清掃を行う。	6. 保守・点検・消耗品
	用紙ガイドの固定が曲がっている。 または、用紙に密着していない。	用紙ガイドを用紙に密着させる。	
	給紙テーブルが曲がっている。	斜行調整ツマミで給紙テーブルを まっすぐにする。	5. 6. 1 斜行調整
	用紙の裁断が曲がっている	斜行調整ツマミで調整する。	
	更紙など、薄口で反っている用紙を 使用している。	用紙交換、または(可能であれば) 用紙を裏返す。	
紙詰まりが多発する	折りローラが汚れている。	折りローラ清掃をする。	6. 保守・点検・消耗品
	折りローラが正しくセットされていない。	折りローラを正しくセットする。	
	仕様外の用紙を使用している。	仕様内の用紙を使用する。	
	厚口の用紙で速度を遅くして使用 している。	速度を速くする。	5. 10 速度調整
	折りカセット1・2が正しくセットされて いない。	折りカセット1・2を正しくセットする。	6. 4 折りカセットの脱着方法
	用紙通過部に紙片が詰まっている。	各部を点検し 紙片を取り除く。	
	給紙ローラが汚れている。	給紙ローラ清掃をする。	6. 保守・点検・消耗品
	静電気の異常発生。	市販の静電気除去スプレーを吹き かける。	
スタートキーを 押しても給紙しない	給紙テーブル上に用紙がない。 または少ない。	給紙テーブル上に用紙をのせる。	
	安全カバーが開いている。	安全カバーを閉じる。	
	排紙フォトセンサが汚れている。	排紙フォトセンサの清掃を行う。	6. 6 フォトセンサの清掃
シワが生じる	折りローラに紙片が巻きついている。	カセット1、2を外して折りローラの 紙片を取り除く。	6. 5 折りローラの脱着・清掃
	折りローラが汚れている。	折りローラ清掃をする。	6. 保守・点検・消耗品
	横目の用紙及びびコシの弱い用紙を 使用している。	処理速度を遅くする。	5. 10 速度調整
	仕様外の用紙を使用している。	仕様内の用紙を使用する。	
	薄口で反っている用紙を使用している。	用紙交換、または(可能であれば) 裏返す。	

現象	原因	処置	参照
電源スイッチをONしても電源が入らない	電源コードのプラグが外れている。	電源コードのプラグを確実に差し込む。	4. 使用前の準備
	ブレーカが働いている。	紙詰まり等の原因を取り除いてからブレーカーボタンを押す。	2. 1 外観
2cm位の幅で紙が折れる	折りカセット1・2内のブレーキのロック。	ブレーキゴムを持ち上げてロックを解除する。	6. 9 折りブレーキのロック解除
排紙ジャムが多発する	排紙ローラの位置が用紙サイズに適した位置にセットされていない。	排紙ローラを最適な位置にセットする。	5. 6. 3 排紙ローラ位置の調整
	排紙満杯。	排紙テーブルの用紙を取り除く。	
給紙スリップが多発する	給紙ゴムローラが摩耗している。	給紙ローラ交換をする。	
	給紙ゴムローラに紙粉やインクの汚れがある。	給紙ローラ清掃をする。	6. 保守・点検・消耗品
	仕様外用の紙を使用している。	仕様内の用紙を使用する。	
	用紙セパレータが汚れている。	用紙セパレータ清掃をする。	6. 保守・点検・消耗品
重送が多発する	用紙セパレータが摩耗している。	用紙セパレータ交換をする。	6. 保守・点検・消耗品
	用紙セパレータが汚れている。	用紙セパレータ清掃をする。	6. 保守・点検・消耗品
	印刷した用紙が 貼り付いている。	用紙をよくさばいて再セットする。	
	仕様外用の紙を使用している。	仕様内の用紙を使用する。	
紙の端が折れる	用紙のカールが大きすぎる。	カールを矯正する。	
	微調整が正しくセットされていない。	微調整を正しくセットする。	5. 6. 2 折り位置の微調整
	折りカセット1、2が正しくセットされていない。	折りカセット1、2を正しくセットする。	4. 使用前の準備

注意！

仕様範囲内の紙質であっても、一度折った紙、また、コピー機やプリンタ等の印刷機からの熱によってカールした紙や波打った紙を使用すると、うまく折れない場合があります。

7.3 : 故障の場合

- ・故障して修理が必要な場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

8. 移設または廃棄するとき

8.1 : 移設

8.1.1 : 旧設置場所からの撤去作業

- ・電源スイッチを切る。
- ・電源プラグをコンセントから抜く。
- ・給紙補助テーブルを下げる。
- ・排紙テーブルを持ち上げて、給紙テーブルに被せ、ピンに引っ掛ける。

8.1.2 : 運搬

- ・取り外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運ぶ。
- ・強い振動や衝撃を与えないようにする。
- ・保護手袋をし、2人で底面4隅をしっかり持って運搬する。

8.1.3 : 移設先での設置

- ・新設の場所と同様、すべての作業を行ってください(「4. 使用前の準備」参照)。

8.2 : 廃棄

- ・廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。

9. 製品仕様

用紙寸法	B7 (91 × 128mm) ~ A3 (297 × 420mm) ※B7は2つ折りのみ可、B6は観音折り不可
用紙質量	40kg ~ 110kg (46.5g / m ² ~ 127.9g / m ²) 2つ折りのみ135kgまで (157g / m ²)
紙質	上質紙・上質孔版紙・中質紙・更紙 (上記の紙質であっても、一度折った紙や印刷機、コピー、プリンタ等による熱によってカールしたり波打っていたりする紙では、うまく折れない場合があります)
折り形	2つ折り・4つ折り・片袖折り・内3つ折り・外3つ折り・観音折り・2回通しによるクロス折り (各折りの変形折りも可能)
折り方式	ブレーキ方式
折り寸法(最大)	折りカセット1: 344mm (4つ折り・片袖折り・外3つ折り) 折りカセット2: 229mm (2つ折り・内3つ折り・観音折り)
折り寸法(最少)	折りカセット1: 45mm (内3つ折り・観音折り) 折りカセット2: 45mm (2つ折り・4つ折り・片袖折り・外3つ折り) ※速度による制限あり
給紙方式	3輪式サバキ方式
給紙積載量	500枚 上質紙55Kg (64g / m ²) の場合
処理速度	2400 ~ 14400枚 / 時 (A4 2つ折り時) 最高速時は、エラー後に次の用紙を給紙して停止 その他、折り形の種類に制限あり
操作方式	カラー液晶タッチパネル・自動設定 (マイコン内蔵による)
付加機能	<ul style="list-style-type: none"> ・斜行調整・紙詰まり検知・4桁カウンタ (加算・減算モード・オートリピート付) ・用紙サイズの自動検出 (A3, B4, A4, B5, A5, B6) ・重送検知 ・クロス折り用 補助用紙ガイド付 ・給紙テーブル自動昇降 ・排紙ローラ5段階位置自動切換え ・用紙長さ自動読取機能 ・用紙サイズ入力による折り位置自動設定 ・微調整の記憶36通り (6種類の用紙サイズ × 6種類の折り形) ・特殊折り登録20通り
消費電力	82.3W
使用電源	100V 50/60Hz
機械寸法	W812 × D545 × H336mm (使用時) W452 × D545 × H332mm (収納時)
機械質量	27kg

・本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

取扱説明書

紙折機 LF-A601

修理・その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくはお客様相談室へご連絡ください。

お客様相談室

〒164-0003 東京都中野区東中野 2 丁目 6 番 11 号

TEL フリーダイヤル 0120-074416

FAX フリーダイヤル 0120-402539



株式会社 **ライオン事務器**

本 社 〒164-0003 東京都中野区東中野 2 丁目 6 番 11 号

TEL03-3369-1111